

『月刊アジア・アフリカ研究』
GEKKAN AJIA AFURIKA KENKYU
総目次

Index: The Monthly Bulletin

(1961年4月創刊号～1986年1-2-3月通巻297-298-299号)

Monthly Bulletin of Afro-Asian Studies

(Vol.1 No.1, 1961-Vol.16 No.3, 1976)

Monthly Bulletin of Afro-Asian Institute of Japan

(Vol.16 No.4, 1976-Vol.26 No.1-2-3, 1986)

特定非営利活動法人(NPO 法人)アジア・アフリカ研究所

1961年・第1巻

4月号 (No.1)

創刊のことば

論説

- キューバ革命と反革命・・・・・・・・・・・・・・・・池上 幹徳
ラオスにおける「侵略」・「中立」と関係14カ国会議・・・・坂本 徳松
さいきんの後進諸国向け資本輸出の動向・・・・・・森田 節男

書評

植民主義とアフリカの革命

—ジャック・ウォーディス『アフリカ—叛乱の根源』

資料

東南アジア諸国にたいする日本の経済的膨張・・・・ヴェ・ヤ・アルピポフ

5月号 (No.2)

論説

- アジア・アフリカ研究の問題点・・・・・・・・・・・・上原 専禄
上原専禄氏の問題提起をめぐって
インドネシア革命の現段階・・・・・・・・・・・・甲斐 静馬

資料

東南アジア諸国の民族ブルジョアジーについて・・・・エフ・サヴェリヨフ
研究だより

6月号 (No.3)

時評

南ベトナムの“ベトコン”について・・・・・・・・・・・・坂本 徳松

研究

インドネシアの8月人民革命・・・・・・・・・・・・中川 信夫

資料

マディウン事件の真相 [1]

—マディウン事件を告発する—・・・・・・D. N. アイディット

論文紹介

ア・フルームキンの「後進諸国向け資本輸出にかんするブルジョア理論」

研究だより

7月号 (No.4)

時評

サンド・ストームふく士候国・・・・・・・・・・・・・・・・寺本 光朗
研究

“独立”という問題によせて・・・・・・・・・・・・・・・・鶴田三千夫
民族民主国家論（1）・・・・・・・・・・・・・・・・中川 信夫
資料

マディウン事件の真相 [2]
—マディウン事件を告発する—・・・・・・・・D. N. アイディット
文献目録
研究だより

8月号 (No.5)

研究
民族民主国家論（2）・・・・・・・・・・・・・・・・中川 信夫
書評

『アフリカの心』について・・・・・・・・・・・・・・・・甲斐 静馬
資料

現代インド経済における新しい諸傾向（1）・・・・・・・・ヴェ・コンドラチェフ
マディウン事件の真相 [3]
—マディウン事件を告発する—・・・・・・・・D. N. アイディット
文献目録

9月号 (No.6)

時評
国連総会をめぐる諸問題・・・・・・・・・・・・・・・・鶴田三千夫
転機に立つ世界経済・・・・・・・・・・・・・・・・佐藤 定幸

研究
新植民地主義について・・・・・・・・・・・・・・・・岡倉古志郎
“新植民地主義”概念の深化と発展・・・・・・・・杉山 市平
—AA20億人のものになった認識—

資料
現代インドにおける新しい諸傾向（II）・・・・・・・・ヴェ・コンドラチェフ

10月号 (No.7)

時評
シリアのクーデター・・・・・・・・・・・・・・・・甲斐 静馬

研究

アメリカの対アフリカ“援助”の実態と本質	寺本 光朗
インド資本と外貨の結合状態	加藤 長雄
北朝鮮における経済建設の発展	中川 信夫

11月号 (No.8)

時評

最終的局面に入った日韓交渉	中川 信夫
---------------	-------

研究

現代後進国における国家資本主義の一般的基礎について	森田 節男
---------------------------	-------

資料

人民公社に関する最近の資料	林 一舟 管 大同
---------------	--------------

12月号 (No.9)

特集：1961年のAALA状勢の回顧と展望（1）

1961年の極東	中川 信夫
----------	-------

AA諸国との関係からみた1961年の中国外交の回顧と

今後の展望

山下 龍三

1961年の東南アジア	坂本 徳松
-------------	-------

1961年の中近東	甲斐 静馬
-----------	-------

資料

スチブンソンを反駁する

オブザーバー、＜人民日報＞12月10日号

1962年・第2巻

1月号 (No.10)

時評

なぜネールはゴア解放にふみきったか	蠟山 芳郎
-------------------	-------

特集：1961年のAALA状勢の回顧と展望（2）

1961年のアフリカの状勢と本年の展望	寺本 光朗
---------------------	-------

発展するラテンアメリカの民族解放闘争	杉山 市平
--------------------	-------

資料

新植地主義の経済学

—アフリカにおける新しい帝国主義— M. デッカー

2月号 (No. 1 1)

時評

西イリアン解放闘争について 甲斐 静馬

研究

最近の中国における人民公社問題 山下 龍三

欧州共同市場とアフリカ 寺本 光朗

資料

南方に進出する日本 ルユハート・ロックウッド

3月号 (No. 1 2)

時評

インド総選挙の結果と意義 風岡 浩

特別寄稿

新植民地主義とアフリカ人民の闘争 A. M. ケール

研究

植民地体制の崩壊と新植民地主義 土生 長穂

講演要旨

アフリカをまわって 奥野 保男

書評

ジャック・ウォッジイス『アフリカ—眼覚める獅子』

資料

躍進をつづける北ヴェトナム経済

4月号 (No. 1 3)

一周年記念特別号

巻頭言 一年のあゆみ

時評

最近の中近東情勢 甲斐 静馬

研究

植民地体制の崩壊と民族民主主義に関する若干の問題 岡倉古志郎

ナセル政権の教育政策に関して 五十嵐良雄

—特にナショナリズムの側面からの紹介—

書評

『東洋諸国における国家資本主義』 土生 長穂

消息

Jack Woddis 氏の新著

資料

トルコの国家資本主義（1）・・・・・・・・・・イ・アベリコフ

事実と統計

アルジェリアの経済関係

記事索引

5月号（No.14）

時評

ラオス・南ヴェトナム・タイの緊迫・・・・・・・・・・坂本 徳松

研究

インド財閥の性格・・・・・・・・・・加藤 長雄

—資本主義の発展段階と関連して—

新植民地主義と国際労働運動・・・・・・・・・・井出 洋

書評

イブ・ラコスト著『低開発国』野田早苗訳

資料

トルコの国家資本主義（2）・・・・・・・・・・イ・アベリコフ

統計

ナイジェリアの貿易

6月号（No.15）

時評

インドネシアの西イリアン解放闘争・・・・・・・・・・田中脩二郎

研究

アジアの“地域統合”と中国・・・・・・・・・・山下 龍三

研究ノート

インドの古代と中世の関係・・・・・・・・・・石田 保昭

書評

板垣与一著『アジアの民族主義と経済発呈』

五十嵐隆編『東南アジア共同市場』

資料

現代と解放をかちとった諸国の発展の道

増大する西ドイツの海外民間投資

7月号（No.16）

時評

研究	アルジェリアの内紛とその背景・・・・・・・・・・山中 宏
研究ノート	日本問題としての沖縄問題・・・・・・・・・・牧瀬 恒二
資料	アフリカにおける民族形成について（Ⅰ）・・・・・・・・寺本 光男
	現代と解放をかちとった諸国の発展の道（Ⅱ）
	ナイジェリアの開発計画

8月号（No.17）

時評	ルアンダ・ウルンジの独立をめぐって・・・・・・・・野間寛二郎
特別寄稿	E. C. A. —アメリカの手をかえた道具・・・・・・・・M. ケール
研究ノート	アフリカにおける民族形成について（Ⅱ）・・・・・・・・寺本 光朗
書評	スカルノ著『革命の旗のもとに』
資料	現代と解放をかちとった諸国の発展の道（Ⅲ）
	民族という言葉の訳とその理解をめぐって

9月号（No.18）

時評	日韓会議と研究者との姿勢・・・・・・・・・・寺尾 五郎
研究	アジアにおける新植民地主義の諸問題・・・・・・・・杉山 市平
研究ノート	アフリカのEEC連携諸国における西ドイツ資本・・・・・・・・丸山 和夫
書評	K. K. パニッカル著『インド国防の諸問題』
資料	エビアン協定の経済的諸側面・・・・・・・・・・ミシェル・アンケ

10月号（No.19）

時評

新しい段階の日中貿易について・・・・・・・・・・鈴木 一雄

イエメン革命と南アラビア情勢・・・・・・・・・・甲斐 静馬

研究

植民地主義から社会主義へ（Ⅰ）—ベトナムの経験—・・・・・・・・逸見 重雄

中共10中総会の思想的達成について・・・・・・・・・・藤井満州男

書評

A. コーヘン著『変貌するアフリカとイギリスの政策』

資料

新植民地主義の道具・・・・・・・・・・プラディミロフ

11月号（No.20）

時評

「印・中国境紛争」・・・・・・・・・・石田 保昭

「キューバ危機」の諸問題・・・・・・・・・・池上 幹徳

研究

アジアにおける国際自由労連の活動・・・・・・・・・・井出 洋

植民地主義から社会主義へ（Ⅱ）—ヴェトナムの経験—・・・・・・・・逸見 重雄

書評

ベ・フイマロフ

ベ・チャグネンコ著『世界資本主義経済における低開発国』

資料

イギリス独占体の植民地戦術（Ⅰ）

12月号（No.21）

時評

A・A諸国の対外経済政策の潮流・・・・・・・・・・田中脩次郎

—アジア経済セミナーの意義—

研究ノート

資本主義世界経済における低開発諸国の地位・・・・・・・・・・岡倉古志郎

調査

アラブ連合の経済建設（1952～1962）とその実績

・・・・・・・・・・中東・北アフリカ研究グループ

特別寄稿

今日の問題—インドはどこへ アンナ・ルイズ・ストロング
書評

スカルノ著
岡倉古志郎訳『わが革命の再発見』

資料
イギリス独占体の植民戦術（Ⅱ）

1963年・第3巻

1月号（No.22）

「年頭の挨拶」新しい年を迎えて 岡倉古志郎

特集：1962年のAALA状勢の回顧と本年の展望

激動するアジア—中国包囲網の完成を焦るアメリカ 加藤 長雄

流動的な中近東情勢と二・三の問題 五十嵐良雄

アフリカ人民の斗いは拡がり深まり前進している 寺本 光朗

1962年のラテンアメリカ 杉山 市平

「アフリカ通信」ネオ・コロニアリズムとアフリカの学術研究 野間寛二郎

—第一回国際アフリカニスト会議に出席して—

資料

アフリカ研究の任務と前途—アフリカニスト会議における報告— 劉 思慕

2月号（No.23）

時評

イラク・クーデターについて 甲斐 静馬

第三回AA連帯大会の到達点 坂本 徳松

研究

新植民地主義下のラテン・アメリカ—従属の深化— 鴨沢 巖

書評

K. H. ドムデイ著『新植民地主義か社会主義的経済援助か』

資料

カタンガの争奪戦と帝国主義の矛盾 姚 云

3月号（No.24）

時評

南朝鮮の新情勢 畑田 重夫

キューバ、そしてベネズエラ? 亀山 旭

研究

	ネール、ナセル両民族政権の階級的性格（上）・・・・・・・・・・	蠟山 芳郎
シンポジウム	経済的独立の現況と問題点（上）	
書評	「講座近代アジア思想史—中国編1」	
資料	軍事化の道を進むインド経済・・・・・・・・・・・・・・・・	孫 培鈞

4月号（No. 25）

時評	中国国内、国際関係の新しい胎動・・・・・・・・・・・・・・・・	山下 龍三
	東アフリカの情勢—ケニアの5月選挙を中心にして—	野間寛二郎
研究	ネール、ナセル両民族政権の階級的性格（中）・・・・・・・・	蠟山 芳郎
シンポジウム	経済的独立の現況と問題点（下）	
書評	ヤ・ヤ・エチングル著『アラブ諸国とアフリカにおける西ドイツの膨張』	
資料	茶番じみたネールの“社会主義”	

5月号（No. 26）

時評	ケネディ政権の援助政策・・・・・・・・・・・・・・・・	陸井 三郎
	—クレイ報告および対外援助特別教書の関連して—	
	難航する新アラブ連合・・・・・・・・・・・・・・・・	熊田 享
研究	イギリス植民地主義の史的特長・・・・・・・・・・・・・・・・	鈴木 正四
シンポジウム	アジア・アフリカ研究の問題点	
	主報告 アジア・アフリカ研究の問題点・・・・・・・・	上原 専祿
	副報告 アフリカ研究の問題性・・・・・・・・	野間寛二郎
	質疑応答と意見交換	
書評	現代帝国主義講座	
資料		

東アフリカ諸国の経済における国家センター・・・・・・・・・・ゲ・ウーソフ

6月号（No. 27）

特集：地域統合と共同市場（*印）

時評 * I 「アフリカ首脳会議」の成果・・・・・・・・・・吉沢 末男

II 日本のOECD加盟をめぐって・・・・・・・・・・朝井 勉

研究 * I マレーシア連邦・・・・・・・・・・杉山 市平

—東南アジアにおける新植民地主義的地域連合（上）

* II ラテン・アメリカ共同市場問題への一視角・・・・・・・・・・鴨沢 巖

書評

朝日新聞調査研究室編『激動するインドシナ』

資料 * I ラテン・アメリカ経済統合と二つの道・・・・・・・・・・イ・ミクーソン

* II EECとアフリカの統一・・・・・・・・・・エムジワンディレ・ピリン

7月号（No. 28）

時評

南アフリカの人種差別問題・・・・・・・・・・川上 誠

研究

I マレーシア連邦・・・・・・・・・・杉山 市平

—東南アジアにおける新植民地主義的地域統合（下）

II ネール、ナセル両政権の階級的な性格（下）・・・・・・・・・・蠟山 芳郎

通信

東アフリカだより・・・・・・・・・・寺本 光朗

書評

新植民地主義の処方箋・・・・・・・・・・Arnold Rivkin :Africa and the West

—J. K. ガルプレイス著『経済開発の展望』

資料

アジアにおける西ドイツの新植民地主義・・・・・・・・・・N. アルカディエフ

8月号（No. 29）

時評

部分的核停条約と原水禁大会・・・・・・・・・・岡倉古志郎

研究ノート

コンゴ問題と国際独占資本・・・・・・・・・・中東・アフリカ部会

座談会

現在のアジア・アフリカ情勢とその特徴・・・・・・・・・・五十嵐良雄 杉山市平

野間寛二郎 寺本光朗

書評

桑原武夫著『発展しつつある国々』・・・・・・・・・・ 古川 原

資料

現代の民族・植民地問題・・・・・・・・・・ K. イワーノフ

9月号 (No. 30)

時評

南ヴェトナム問題とアメリカのジレンマ・・・・・・・・・・ 坂本 徳松

研究

インド農民運動の当面する若干の問題点・・・・・・・・・・ 古賀 正則

紹介

後進諸国における軍部とその役割 (上)

書評

甲斐静馬著『中近東入門』

パズル・デヴィッドソン著

内山 敏訳『ブラック・マザー』

資料

南ヴェトナムにおけるアメリカ・・・・・・・・・・カック・フウン
ーゴー・ディン・ジェムの経済戦争ー

日誌

1963年8月のAALA

10月号 (No. 31)

時評

インドネシア民族の反マレイシア闘争・・・・・・・・・・ 増田 与

研究

アフリカにおけるアメリカ新植民地主義・・・・・・・・・・ M. ケール

紹介

後進諸国における軍部とその役割 (下)

書評

飯塚浩二著『東洋史と西洋史のあいだ』

資料

「低開発国経済学」は新植民地主義「理論」である・・・・・・・・・・ 黄 展鵬

日誌

1963年9月のAALA

11月号 (No. 32)

特集：後進諸国における国家資本主義の諸問題

時評

ビルマの社会主義への道・・・・・・・・・・蠟山 芳郎

シンポジウム

I 後進国における国家資本主義・・・・・・・・・・尾崎 彦朔

II 帝国主義「援助」の後進諸国の国家資本主義にたいする影響
・・・・・・・・・・蠟山 芳郎

III アメリカの対後進諸国「援助」の若干の特徴・・・・・・・・奥村 茂次

資料

独立ガーナの国づくり・・・・・・・・・・ジャック・ウオデイス

日誌

1963年10月のAALA

12月号 (No. 33)

時評

大統領暗殺とアメリカのA. A政策・・・・・・・・・・陸井 三郎

研究ノート

文化思想面における新植民地主義と平和部隊に関するノート・・五十嵐良雄

資料

現代ブルジョア経済学の若干の「理論」の
植民地主義的本質 (上)・・ベ・ルイマロフ
・ベ・チャグネンコ

日誌

1963年11月のAALA

1964年・第4巻

1月号 (No. 34)

「年頭の挨拶」激動の64年を迎えて・・・・・・・・・・岡倉古志郎

特集：1963年のアジア

アジア—世界の最大の矛盾の焦点・・・・・・・・・・岡倉古志郎

アジアにおける革命と反革命・・・・・・・・・・蠟山 芳郎

A. A. 研究の現状と課題—63年を中心として—・・・・・・・・石田 保昭

論壇時評

「南北問題」化について・・・・・・・・・・鴨沢 巖

資料

現代ブルジョア経済学の若干「理論」の

植民地主義的本質（下）・・・ベ・ルイマロフ

・ベ・チャグネンコ

日誌

1963年の12月のAALA

2月号（No. 35）

時評

アジア情勢の新段階・・・・・・・・・・・・・・・・・・坂本 徳松

現段階のわが国AA研究者の精神的立場・・・・・・・・石田 保昭

インド特集

研究

ガンディ思想の受けとり方—非暴力哲学を中心にして—・・・増原 良彦

近世インドにおける宗教改革運動と民族意識（上）・・・・大類 純

論壇時評

インドを見る眼・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・三木 亘

書評

石田保昭著『インドで暮らす』・・・・・・・・・・・・五十嵐良雄

資料

ネールの反中国政策の背景・・・・・・・・・・・・・・・・徐 景琳

日誌

1964年1月のAALA

3月号（No. 36）

時評

周恩来のAA諸国訪問

特別寄稿

I アフリカ人民の英雄的な帝国主義・ネオコロニアリズム

反対の闘争について・・・オセンディ・アフアナ

II 西アフリカにおける階級構成について・・・・オセンディ・アフアナ

資料

ネールの反中国政策の背景（下）・・・・・・・・・・・・徐 景琳

日誌

1964年2月のAALA

4月号 (No. 37)

時評

日韓会議の現段階と日本人民の立場・・・・・・・・・・寺尾 五郎

研究

“南北問題”にたいする日本支配者の政策・・・・・・・・・・神田 信夫

旅行ノート

パキスタンの対米政策の転換—パキスタンの旅行から—・・・・加藤 長雄

論壇時評

4月号の総合雑誌評—日朝関係を中心として—・・・・・・犬丸 義一

調査

ポルトガル領アフリカにおける国際独占資本・・・・・・・・・・川上 誠

日誌

1964年3月のAALA

5月号 (No. 38)

時評

ラオス情勢の新局面・・・・・・・・・・・・・・・・・・坂本 徳松

ブラジルのクーデター・・・・・・・・・・・・・・・・・・吉沢 末男

研究ノート

新植民地主義に関する理論的諸問題・・・・・・・・・・土生 長穂

報告要旨

ネール死後のインド・・・・・・・・・・・・・・・・・・蠟山 芳郎

調査

アジアにおけるアメリカの新植民地主義と「援助」・・・・・・加藤 長雄

日誌

1964年4月のAALA

6月号 (No. 39)

特集：揺らぐアメリカのアジア支配

I 崩れゆくアメリカの軍事拠点・・・・・・・・・・畑田 重夫

II 沖縄の占領制度と「琉球政府」の危機・・・・・・・・・・牧瀬 恒二

III インドシナの熱戦・・・・・・・・・・・・・・・・・・神保潤一郎

事実と統計

南朝鮮の危機の経済的背景

資料

アメリカの全世界における失敗・・・・・・・・・・ 思 慕

日誌

1964年5月のAALA

7月号（No. 40）

時評

当面のニグロ解放闘争における緒論点・・・・・・・・・・陸井 三郎

研究

I 「進歩のための同盟」の破産・・・・・・・・・・吉沢 末男

II ユナイテッド・フルート・カンパニーの性格・・・・・・・・鴨沢 巖

III ラテンアメリカの経済と法・・・・・・・・・・ジョルジュ・ランドン

書評

中尾・泉・井沢監修『ラテンアメリカの歴史』・・・・・・・・河合 恒生

資料

アメリカ黒人の正義の闘争は必ず勝利する（上）・・・・・・・・林文山・鄭公盾

日誌

1964年6月のAALA

8月号（No. 41）

報告

1964年北京シンポジウムの歴史的意義・・・・・・・・・・石田 保昭

研究

I インドにおける銀行国有化をめぐる問題・・・・・・・・堀中 浩

II フィリピンにおけるアメリカ帝国主義の支配・・・・・・・・森山 和夫

III インドネシアにおける国家資本主義・・・・・・・・増田 与

資料

アメリカ黒人の正義の闘争は必ず勝利する（下）・・・・・・・・林 文山・鄭 公盾

日誌

1964年7月のAALA

9月号（No. 42）

時評

コンゴの武装闘争と若干の特徴点・・・・・・・・・・佐野 明

研究

新植民地主義と国家資本主義・・・・・・・・・・加藤 長雄

—インドにおける経験—

論壇時評

いわゆる南北問題の経済学について・・・・・・・・・・柴田 政利

資料

インドの工業化と国家の経済的役割（上）・・・・・・・・・・V. コンドラティエフ

日誌

1964年8月のAALA

10月号（No. 43）

報告

国際情勢の旋回軸をめぐって・・・・・・・・・・山下龍三・佐藤重雄・坂本徳松

研究

I 新植民地主義経済理論の系譜・・・・・・・・・・神田 信夫

II 西アフリカにおける土地関係・・・・・・・・・・川上 誠

日誌

1964年9月のAALA

11月号（No. 44）

時評

第二のコンゴ事件—スタンレービル作戦の真相—・・・・・・・・・・佐野 明

研究

戦前・戦後の日本の外資導入と資本輸出・・・・・・・・・・小谷 崇

資料

アメリカに危害を加えられている日本の国際収支・・・・・・・・・・東 波

インドの工業化と国家の経済的役割（下）・・・・・・・・・・V. コンドラティエフ

日誌

1964年10月のAALA

12月号（No. 45）

時評

ジョンソン政権の1年間と今後について・・・・・・・・・・陸井 三郎

シンポジウム

日本・極東をめぐる1964年の国際関係

I 崩れゆくアジアのアメリカ・極東政策・・・・・・・・・・岡倉古志郎

II 整った1970年への勢力配置・・・・・・・・・・山田 昭

III 危機段階に入った日本経済・・・・・・・・・・古川 哲

資料

日ましに尖鋭化する米仏の経済矛盾・・・・・・・・・・王 克 勤
日誌

1964年11月のAALA

1965年・第5巻

1月号（No. 46）

「年頭の言葉」第2回アジア・アフリカ会議と日本の進路・・・・・・・・江口 朴郎
研究

I 10年来のアジア・アフリカ・・・・・・・・岡倉古志郎
—バンドンからアルジェまでの歩み—

II AA連帯運動10年の発展・・・・・・・・坂本 徳松

年表

バンドン以後10年のアジア・アフリカ・・・・・・・・河合 恒生

論壇時評

最近の日本のナショナリズム論争の若干の特徴・・・・・・・・犬丸 義一

日誌

1964年12月のAALA

2月号（No. 47）

時評

大詰めにきた日韓会談と再び研究者の姿勢について・・・・・・・・寺尾 五郎

報告

新植民地主義の若干の理論問題・・・・・・・・北田 芳治

研究ノート

帝国主義とインド寄生地主制・・・・・・・・石田 保昭

資料

アフリカ労働者階級の任務（上）・・・・・・・・ジョン・テテガ

日誌

1965年1月のAALA

3月号（No. 48）

時評

ベトナム戦争論—朝鮮戦争との比較検討において—・・・・・・・・畑田 重夫

研究

アジア・アフリカ諸国の貿易について・・・・・・・・堀中 浩

報告

アメリカ帝国主義の新植民地主義・・・・・・・・・・土生 長穂

資料

アフリカ労働者階級の任務（下）・・・・・・・・・・ジョン・テテガ

日誌

1965年2月のAALA

4・5月合併号（No. 49）

時評

深められたAA連帯運動の総路線・・・・・・・・・・岡倉古志郎
—ウインネバ会議の成果—

特集：ベトナム問題

「声明」ベトナム戦争をめぐる当面の緊急事態についての声明

アジア・アフリカ研究所第4回総会

研究

- I アメリカのアジア政権とベトナム問題・・・・・・・・・・蠟山 芳郎
- II ベトナム戦争とロストウ理論・・・・・・・・・・土生 長穂
- III 南ベトナム経済に占める外国資本・・・・・・・・・・真保潤一郎
- IV ベトナム戦争と日本・・・・・・・・・・六角 恒広
- V ブルジョア兵学の運命—ベトナム運命をめぐる—・・・・・・・・石田 保昭

研究ノート

ベトナム革命に関するレポート・・・・・・・・・・阿部 和子

資料

- I ジュネーブ協定にたいするアメリカの侵犯・・・・・・・・・・河合 恒生
- II ベトナム革命における土地および農民問題について（上）
・・・・・・・・・・チャン・フォン

日誌

1965年3・4月のAALA

6月号（No. 50）

時評

侵略とたたかうドミニカ人民・・・・・・・・・・河合 恒生

研究

ラテンアメリカにおけるアメリカ帝国主義の支配・・・・・・・・森山 和夫
—資本輸出を中心にして—

調査

インドネシアの農業問題・・・・・・・・・・・・・・・・・・増田 与
—プリンゴデグトの農村調査について—

資料

ベトナム革命における土地および農民問題について（下）
・・・・・・・・チャン・フォン

日誌

1965年5月のAALA

7月号（No. 51）

時評

ベトナム問題をどう把握するか・・・・・・・・・・鈴木 正四

研究

“沖縄ブーム”の根底にあるもの
—ブルジョア民族主義としての“つみかさね”復帰—・・・・牧瀬 恒二
新興諸国における自力更正と国際経済論・・・・・・・・・・堀中 浩

資料

農民は農村の悪魔を粉砕せよ（I）・・・・・・・・・・D. N. アイディット
—西ジャワの農民運動の状況に関する調査結果の概要—

日誌

1965年6月のAALA

8月号（No. 52）

時評

「カシミールはカシミール人に」・・・・・・・・・・蠟山 芳郎
—カシミール紛争の理解のために—
なぜイギリスはシンガポールを“独立”させたか・・・・・・・・M. メルデカ

研究

「日韓条約」批准阻止のたたかいと日朝両国人民の連帯・・・・・・・・伊藤 忠士

資料

アジア史をどう評価するか・・・・・・・・・・劉 大年
農民は農村の悪魔を粉砕せよ（II）・・・・・・・・・・D. N. アイディット

統計

インドの経済事情

日誌

1965年7月のAALA

9月号 (No. 53)

時評

日韓・ベトナムと1965年・・・・・・・・・・・・・・・・・・坂本 徳松

研究

I 朝鮮研究入門に関する試論・・・・・・・・・・宮田節子・桜井浩・畑田重夫

II 解放思想の系譜・・・・・・・・・・・・・・・・石田 保昭

報告

アフリカ情勢の若干の特徴・・・・・・・・・・A. M. ケール

日誌

1965年8月のAALA

10月号 (No. 54)

時評

ローデシアの「独立」宣言とその背景・・・・・・・・・・佐野 明

研究

アメリカにおける反戦闘争の実体と性格・・・・・・・・陸井 三郎

研究ノート

新植民地主義と宗教 (I)・・・・・・・・・・南溪 太郎

資料

農民は農村の悪魔を粉砕せよ (III)・・・・・・・・D. N. アイディット

日誌

1965年9月のAALA

11月号 (No. 55)

時評

アジア・アフリカ会議延長の意義・・・・・・・・・・加藤 長雄

シンポジウム

激動するインドネシア

I インドネシア情勢の把握の仕方について・・・・・・・・岡倉古志郎

II インドネシア革命の根本問題・・・・・・・・・・増田 与

III インドネシア経済と軍部・・・・・・・・・・蠟山 芳郎

資料

農民は農村の悪魔を粉砕せよ (IV)・・・・・・・・D. N. アイディット

日誌

1965年10月のAALA

12月号(No. 56)

時評

アジアにおける“大動揺、大分化、大改組”……山下 龍三

研究

コミンテルンとアジア……犬丸 義一
—コミンテルンの民族・植民地問題に関する方針の歴史的展開—

資料

農民は農村の悪魔を粉砕せよ(V)……D. N. アイディット

日誌

1965年11月のAALA

1966年・第6巻

1月号(No. 57)

「年頭のあいさつ」1966年をむかえて……岡倉古志郎

特集：1965年のAA情勢とAA研究の動向

I 1965年のアジア・アフリカ……岡倉古志郎

II アジア・アフリカ研究の最近の動向と課題……石田 保昭

III 1965年のわが国におけるアジア・アフリカ・ラテンアメリカ研究
……森山 和夫

—その経済面における総括と展望—

紹介

逸見重雄著『帝国主義と民族民主革命—ベトナム問題を中心にして』
……阿部 和子

資料

農民は農村の悪魔を粉砕せよ(VI)……D. N. アイディット

日誌

1965年12月のAALA

(「月刊アジア・アフリカ研究」) 1965年総目次

2月号(No. 58)

時評

第1回アジア・アフリカ・ラテンアメリカ人民連帯大会の成果・井出 洋

研究

アメリカ外交思想のなかのロストウ理論……伊藤 康子

書評

W. E. B. デュボア

木島始 他訳	『黒人のたましい』	陸井 三郎
紹介		
	『非資本主義的發展』の理論	土生 長穂
資料		
	農民は農村の悪魔を粉砕せよ (VII)	D. N. アイディット
日誌		
	1965年12月のAALA	

3月号 (No. 59)

時評		
	ホノルル会議の後に来るもの	坂本 徳松
特集：比較民族民主革命研究試論		
	—ベトナム、キューバ、アルジェリア革命とその問題点—	
	I ベトナム8月革命の史的考察	阿部 和子
	II キューバ革命における指導権	河合 恒生
	III アルジェリア革命とFLN	小沢 文子
書評		
	神谷不二『朝鮮戦争—米中対決の原型』	陸井 三郎
日誌		
	1966年1月のAALA	

4月号 (No. 60)

時評		
	東南アジア開発閣僚会議の意味	神田 信夫
研究		
	国際間の搾取について	堀中 浩
シンポジウム		
	最近のAA情勢をどう評価するか	
	I 9・30以後のアジアとインドネシア	増田 与
	II ガーナのクーデター	寺本 光朗
	III 民族民主革命の前進が主流	土生 長穂
論壇時評		
	木を見て森を見ないAA情勢論議	
書評		
	わが国の社会主義の時期における階級闘争を論ず (上)	許 滌新
日誌		

1966年2月のAALA

5月号 (No. 61)

時評

さらに深刻化した南ベトナムの政府危機・・・・・・・・・・編集委員会

追悼の言葉

オッセンディーの死をいたむ・・・・・・・・・・岡倉古志郎

遺稿

コンゴ (ブラザヴィル) の革命 (上)・・・・・・・・・・オッセンディー・アフアナ

研究

ギニアの国家資本主義・・・・・・・・・・川上 誠

投稿

ポルトガル植民地主義の経済的側面 (上)・・・・・・・・・・川端 正久
—強制労働と同化政策を中心にして—

書評

わが国の社会主義の時期における階級闘争を論ず (下)・・・・・・・・許 滌新

日誌

1966年4月のAALA

6月号 (No. 62)

時評

人をだませぬアジア閣僚会議の真の目的・・・・・・・・・・編集委員会

遺稿

コンゴ (ブラザヴィル) の革命 (下)・・・・・・・・・・オッセンディー・アフアナ

研究

インドの国家資本主義・・・・・・・・・・堀中 浩

書評

ホー・チ・ミン著・坂本・大類訳『解放の思想』・・・・・・・・齊藤 玄
増田 与著『インドネシア』・・・・・・・・唐沢 敬

資料

インドネシアの国営部門と官僚ブルジョアジー・・ M. A. アンドレーエフ

日誌

1966年5月のAALA

7月号 (No. 63)

時評

日米会議と「聖域」爆撃・・・・・・・・・・・・・・・・編集委員会

特集：侵略戦争と経済

I ベトナム戦争とアメリカ経済・・・・・・・・・・佐藤 定幸

II ベトナム特需と日本独占資本の思惑・・・・・・・・神田 信夫

III ベトナム戦争と沖縄・・・・・・・・・・牧瀬 恒二

投稿

ポルトガル植民地主義の経済的側面（下）・・・・・・・・川端 正久
—強制労働と同化政策を中心として—

資料

ブラジル脅かす新植民地主義（上）

日誌

1966年5月のAALA

8月号（No. 64）

時評

最近の東南アジア情勢について・・・・・・・・編集委員会

アフリカ問題シンポジウム

I アフリカ革命の前進・・・・・・・・・・寺本 光朗

II 南部アフリカと帝国主義・・・・・・・・チャジ. M. W. L. マペファネ
—その最新の形態である新植民地主義—

III アフリカにおける民族民主革命の背景と現状

および真のアフリカ人革命家の任務・・・・・・・・モーゼス. K. カジュオング

IV 新植民地主義・・・・・・・・・・ジュニー・セチャーレ

—アメリカ帝国主義にひきいられた国際帝国主義の

狂暴かつ残忍な闘い—

資料

ブラジルを脅かす新植民地主義（下）

日誌

1966年6月のAALA

9月号（No. 65）

時評

インドシナ中立化の問題点・・・・・・・・編集委員会

特集：民族民主革命における統一戦線の比較研究試論

—キューバ、ベトナム、ラオス、インドネシア、アルジェリアの場合—

総説

キューバ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・河合 恒生
ベトナム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・藤田 和子
ラオス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・福井美保子
インドネシア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・唐沢 敬
アルジェリア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・小沢 文子

アフリカ問題シンポジウム

V 革命的幹部の養成が緊急・・・・・・・・・・・・デンバー・ディアロ
VI 独立後8年を経たギニアの現状・・・・・・・・・・・・成田 良雄

日誌

1966年7月のAALA

10月号 (No. 66)

時評

国際流動性論争の問題点・・・・・・・・・・・・：・・編集委員会

研究

トルコの国家資本主義・・・・・・・・・・・・・・・・鴨沢 巖

投稿

レーニン半植民地の概念規定について・・・・・・・・渡辺 正幸

資料

アパルトヘイトのパートナー (上)・・・・・・・・アメリカ・アフリカ委員会
—アメリカの南のアフリカにたいする政策—

日誌

1966年8月のAALA

11月号 (No. 67)

時評

核ミサイル実験・マニラ会議・・・・・・・・・・・・編集委員会

研究

I 「日韓条約」締結後1年間の日「韓」をめぐる国際情勢・・畑田 重夫
II インド独占の成長と米英独占への従属・・・・・・・・加藤 長雄

書評

宮里政玄著『アメリカの沖縄統治』

資料

アパルトヘイトのパートナー (下)・・・・・・・・アメリカ・アフリカ委員会
—アメリカの南アフリカにたいする政策—

日誌

1966年9月のAALA

12月号(No. 68)

時評

アジア開銀と農業開発基金の陰謀・・・編集委員会

特集：現段階のAALAの政治情勢

I 1966年のアジアの政治情勢・・・保利 一

II 曲折をへながら前進するアフリカ革命・・・川上 誠

III 燃えあがるラテンアメリカ・・・河合 恒生

資料

最近のインドネシアの政治情勢・・・Suara Pemuda Indonesia

日誌

1966年10月のAALA

1967年・第7巻

1月号(No. 69)

「年頭のあいさつ」1967年をむかえて・・・岡倉古志郎

談話

アジア・アフリカ研究雑感・・・江口 朴郎

時評

当面するアメリカのベトナム戦争打開策と日本・・・鈴木 正四

研究

ソ連修正主義の歴史的展開・・・副島 種典

投稿

インド現代思想史研究の前件・・・山折 哲雄

資料

南朝鮮の「国家」資本の特徴と役割・・・リ・タク

日誌

1966年11月のAALA

2月号(No. 70)

時評

ジョンソンの年頭教書とベトナム戦争・・・森山 和夫

研究

I 日本における軍国主義・帝国主義の復活・・・畑田 重夫

書評	II 戦後における世界労働運動の歴史と現況 (上) 中林賢二郎
資料	菊池一雅著『ベトナムの農民』 斉藤 玄
日誌	黒アフリカにおける民俗学と階級闘争 サンバ・エンディアエ
	1966年12月のAALA

3月号 (No. 71)

時評	スカルノ追放とインドネシアの今後 唐沢 敬
研究	I 中ソ対立の激化と文化革命 尾崎庄太郎
	II 戦後における世界労働運動の歴史と現況 (下) 中林賢二郎
資料	「近代化論」を解剖する (上) 『祖国統一』紙論説
日誌	
	1967年1月のAALA

4月号 (No. 72)

宣言	アジア・アフリカ研究所第6回総会宣言
決議	I 在日朝鮮人の民主・民族教育を抑圧する 「外国人学校制度」新設に反対する決議
	II 再びベトナム戦争をめぐる当面の緊急事態についての声明
時評	グアム島会議の決算表 岡倉古志郎 —先鋭化するアメリカの内部矛盾—
研究	インド総選挙の政治的分析 杉本 季之
報告	ベトナム戦争と日本経済 北田 芳治
資料	「近代化論」を解剖する (下) 『祖国統一』紙論説
日誌	

1967年2月のAALA

5月号 (No. 73)

時評

ラテンアメリカ首脳会議・・・・・・・・・・・・・・・・河合 恒生

研究

新植民地主義と宗教 (II)・・・・・・・・・・・・・・・・南 溪太郎

「4・28 沖縄デー」の歴史・・・・・・・・・・・・・・・・牧瀬 恒二

資料

ラテンアメリカの経済理論・・・・・・・・・・・・・・・・ベ・ヤロチェフスキー

日誌

1967年3月のAALA

6月号 (No. 74)

時評

もり上がるアデン反帝闘争・・・・・・・・・・・・・・・・平井 文子

解説

中東侵略戦争とアラブ人民の闘い・・・・・・・・・・・・・・・・寺本 光朗

研究

戦後の世界経済の発展と現状 (上)・・・・・・・・・・・・・・・・柴田 政利

研究

象牙海岸の商業的農業の発展と農業政策・・・・・・・・川上 誠

資料

アメリカ経済の50年・・・・・・・・・・・・・・・・林 学東

日誌

1967年4月のAALA

7月号 (No. 75)

時評

I グラスポロの貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・重森 宏

II ASPACと日本の危険な役割り・・・・・・・・・・・・・・・・佐野 明

研究

I 戦後の世界経済の発展と現状 (下)・・・・・・・・・・・・・・・・柴田 政利

II オーストラリアにおけるアメリカ資本・・・・・・・・森山 和夫

紀行

資料	フロリダから90マイルのところで	唐沢 敬
日誌	アメリカ経済の50年(II)	林 学東
	1967年5月のAALA	

8月号 (No. 76)

時評	I 黒人闘争の新たな高まり	白井 友和
	II 香港中国人の反英闘争の本質と今後の展望	尾崎庄太郎
研究	「文化大革命」下の中国の対外関係(上)	川添 登
調査	キューバの工業発展政策について	後藤 政子
資料	アメリカ経済の50年(III)	林 学東
日誌	1967年6月のAALA	

9月号 (No. 77)

時評	I 南ベトナム「大統領選挙」の茶番劇	斉藤 玄
	II 新植民地主義的地域協力体—ASEAN	高原 七郎
研究	「文化大革命」下の中国の対外関係(中)	川添 登
投稿	モザンビーク民族解放運動とその現段階(上)	川端 正久
書評	ラテンアメリカ解放の不滅の炎ホセ・マルティ	吉田 利昭
資料	アメリカ経済の50年(IV)	林 学東
日誌	1967年7月のAALA	

10月号 (No. 78)

時評

革命のなかで団結するラテン・アメリカ

—LASO第1回大会をめぐって— 河合 恒生

研究

「文化大革命」下の中国の対外関係（下の1） 川添 登

論壇時評

“南北問題”をめぐる現代修正主義理論の若干の特徴 神田 信夫

投稿

モザンビーク民族解放運動とその現段階（下） 川端 正久

資料

アメリカ経済の50年（V） 林 学東

日誌

1967年8月のAALA

11月号（No. 79）

時評

佐藤「訪問外交」の政治的意義 松永 哲

研究

I 南朝鮮の国家資本主義 保利 一

II 「文化大革命」下の中国の対外関係（下の2） 川添 登

資料

I アメリカ経済50年（VI） 林 学東

II 国連の発展しつつある国への援助 L. ゴシーナ

日誌

1967年9月のAALA

12月号（No. 80）

1967年のAALA情勢の回顧と展望（上）

I AALA民族解放運動の現段階—1967年の回顧と展望—岡倉古志郎

II 文化大革命の下の中国の対AALA外交 高原 七郎

III インドの政治情勢 堀中 浩

IV 激動する中東情勢 平井 文子

資料

アメリカ経済の50年（VII） 林 学東

日誌

1967年10月のAALA

1968年・第8巻

1月号（No. 81）

1968年をむかえて・・・・・・・・・・・・・・・・岡倉古志郎

1967年のAALA情勢の回顧と展望（下）

- I 「日米共同責任時代」の開始・・・・・・・・吉岡 吉典
- II カンボジアの中立主義と最近の内外情勢・・・・・・・・佐野 明
- III 1967年のラテン・アメリカ情勢・・・・・・・・河合 恒生
- IV 勝利の道を進むベトナム人民・・・・・・・・寺本 光朗

2月号（No. 82）

時評

- I ジョンソンの年頭教書と侵略政策の破綻・・・・・・・・森山 和夫
- II 戦争挑発の激化と朝鮮人民の反撃・・・・・・・・佐野 明
- ・・・・・・・・・・・・・・・・比嘉 俊爾

研究

- I 日米共同責任体制下の日本独占の対インドネシア進出・・・・唐沢 収一

資料

アメリカ経済50年（VIII）・・・・・・・・林 学東

日誌

1967年11月のAALA

3月号（No. 83）

時評

早くも行き悩む国連貿易開発会議・・・・・・・・神田 信夫

研究

「過渡期」と社会主義の勝利の問題・・・・・・・・犬丸 義一
—中国「文化大革命」をめぐる社会主義理論研究上の
若干の問題点—

資料

アメリカ経済の50年（IX）・・・・・・・・林 学東

日誌

1967年12月のAALA

4月号（No. 84）

時評

	I	情勢に強いられたジョンソン提案	陸井 三郎
	II	前進するラオス人民の闘争	藤田 和子
研究			
	I	シオニズムについての一考察	岡倉古志郎
	II	インド社会論のための覚書—ケララ州の場合— (上)	山折 哲雄
書評			
		米沢秀夫著『中国経済論』	尾崎庄太郎
資料			
		偉大な十月と民族解放運動	ベ・ゲ・ガフウロフ
日誌			
		1968年1月のAALA	

5月号 (No. 85)

時評			
		「主席」公選と沖縄県民の闘い	比嘉 俊爾
研究			
	I	インド社会論のための覚書—ケララ州の場合— (中)	山折 哲雄
	II	うちやぶられた幻想	神田 信夫
		—第2回国連貿易開発会議の経過—	
資料			
		熱帯アフリカ：種族間紛争の性格について	ヨルダンスキー
日誌			
		1968年2月のAALA	

6月号 (No. 86)

時評			
	I	「ポスト・ベトナム」と米中関係	高原 七郎
	II	中東戦争から一年	平井 文子
研究			
	I	インド社会論のための覚書—ケララ州の場合— (下)	山折 哲雄
	II	旧ベルギー領コンゴの植民地体制 (上)	岡倉 登志
		—経済的側面を中心に—	
書評			
		日弁連編『沖縄報告』	永丘 正
資料			
		熱帯アフリカ：種族間紛争の性格について (続)	ヨルダンスキー

日誌

1968年3月のAALA

7月号(No. 87)

特集：ベトナム戦争をめぐって(上)

- I アメリカのパリ会談戦略とその成否・・・・・・・・・・陸井 三郎
- II ベトナム戦争とアメリカ経済・・・・・・・・・・森山 和夫
- III ベトナム新情勢と東南アジア・・・・・・・・・・唐沢 敬

研究

旧ベルギー領コンゴの植民地体制(下)・・・・・・・・・・岡倉 登志
—経済的側面を中心に—

日誌

1968年4月のAALA

8月号(No. 88)

時評

アジア侵略加担の度を深める佐藤政府・・・・・・・・・・土生 長穂
—第3回ASPAC会議をめぐって—

特集：ベトナム戦争をめぐって(下)

テト攻勢とその後の南ベトナム・・・・・・・・・・寺本 光朗

報告

パリ会談下の北ベトナム・・・・・・・・・・斉藤 玄

資料

「スエズ以東」・・・・・・・・・・S. マゾエフスキー
—アジア太平洋沿岸における英帝国主義の戦略変更について—

日誌

1968年5月のAALA

9月号(No. 89)

時評

ナイジェリア内戦の原因と経過・・・・・・・・・・岡倉 登志

研究

ラテン・アメリカにおけるアメリカの新植民地主義・・・・・・・・木田 和雄

資料

フランツ・ファノン・・・・・・・・・・ウイリー・トンプソン

日誌

1968年6月のAALA

10月号(No. 90)

論壇時評

根本から対立する最近の「文革」二つの評価について……尾崎庄太郎
—「革命委員会」の成立を中心にして—

報告

アフリカ、ラテン・アメリカ解放運動の諸問題

ラテン・アメリカの革命の諸問題……ラモン・シノバス・カサド

ポルトガル領植民地の解放運動……パウロ・ジョルジュ

研究

アンゴラ民族解放運動とその現段階(上)……川端 正久

日誌

1968年7月のAALA

11月号(No. 91)

時評

I パリ会談の新局面とその背景……齊藤 玄

II ニクソンの当選と今後の内外政策……陸井 三郎

特別寄稿

ガーナにおける民族形成……I. セルノー

研究

アンゴラ民族解放運動とその現段階(下)……川端 正久

資料

中東諸国石油政策の新局面……R. アンドレアシャン

日誌

1968年8月のAALA

12月号(No. 92)

時評

沖縄の3大選挙の意味するもの……牧瀬 恒二

研究

アメリカの世界政策と新植民地主義……岡倉古志郎

日誌

1968年9月のAALA

1969年・第9巻

1月号（No. 93）

「年頭のあいさつ」1969年を迎えるにあたって・・・・・・・・・・岡倉古志郎

1968年の三大陸情勢の回顧と69年の展望（上）

I 1968年のAALA情勢の若干の特徴・・・・・・・・・・土生 長穂

II 前進するアジアの民族民主革命・・・・・・・・・・藤田 和子

III 最近のアラブ連合情勢・・・・・・・・・・大東 繁

IV 戦雲はらむ中近東・・・・・・・・・・平井 文子

資料

ドブレ理論—その長所と短所・・・・・・・・・・L. ヒューバーマン
・・・・・・・・・・P. スイージ

2月号（No. 94）

時評

中共「9全大会」をめぐる諸問題

研究

パトリス・ルムンバの思想と行動

1968年の三大陸情勢の回顧と69年の展望（下）

V 1968年の黒アフリカ・・・・・・・・・・川上 誠

VI 炎え上がるラテン・アメリカ革命・・・・・・・・・・河合 恒生

資料

K. マルクスと民族運動の諸問題（上）・・・・・・・・R. A. ウリヤノフスキー

3月号（No. 95）

時評

揺れ動くパキスタン・・・・・・・・・・唐沢 敬

研究

I アステカ社会とアジア的生産様式（I）・・・・・・・・・・巢山 靖司

II ペロニズムに関する一考察・・・・・・・・・・河合 恒生

資料

K. マルクスと民族運動の諸問題（下）・・・・・・・・R. A. ウリヤノフスキー

4月号（No. 96）

時評

社会主義圏の異常な出来事・・・・・・・・・・高原 七郎

研究

- I アステカ社会とアジア的生産様式 (II) 巢山 靖司
II 孫文の晩年の革命活動と中国共産党 (上) 吉沢 南
- 資料
インドネシア：将軍たちと政治 R. ルーセフ

5月号 (No. 97)

- 時評
I ニクソン政権の侵略性を暴露—米スパイ機撃墜事件— . . . 檜垣 勲
II 日本独占資本の「70年代援助構想」 唐沢 敬
- 研究
I アステカ社会とアジア的生産様式 (III) 巢山 靖司
II 孫文の晩年の革命運動と中国共産党 (下) 吉沢 南
- 資料
南ベトナムの労働運動 (1945・7～1961・7) (1) . . . ボーゲン

6月号 (No. 98)

- 時評
ニクソン政権のベトナム政策
—解放戦線10項目・ニクソン演説・
南ベトナム臨時革命政府成立に関連して— . . . 陸井 三郎
- II マレーシアの「衝突事件」 桐山 昇
- 研究
I アステカ社会とアジア的生産様式 (IV) 巢山 靖司
II ビルマにおける民族民主革命の展開 (上) 長沼 友兄

7月号 (No. 99)

- 時評
ラテン・アメリカに新たな反帝闘争の波 河合 恒生
- 研究
I アステカ社会とアジア的生産様式 (V) 巢山 靖司
II ビルマにおける民族民主革命の展開 (下) 長沼 友兄
- 資料
南ベトナムの労働運動 (1954・7～1961・7) (II) . . . ボー・ゲン

8月号 (No. 100)

時評

インド会議派の危機と銀行国有化・・・・・・・・・・松村 武雄
研究

I 毛沢東思想批判序説・・・・・・・・・・犬丸 義一

II 『朝中国境紛争』説の背景と延边朝鮮族自治州の実情・・・川越 敬三
資料

南ベトナムの労働運動（1954・7～1961・7）(III)・ボー・グエン

9月号（No. 101）

I ホー主席の死を悼む・・・・・・・・・・岡倉古志郎

II 革命家ホー・チ・ミン（I）・・・・・・・・・・鈴木 正四

時評

朴三選にテコ入れした第三回日「韓」閣僚会議・・・・・・・・・・檜垣 勲

研究

カストロ、ゲバラの革命思想・・・・・・・・・・後藤 政子

研究ノート

ソビエト学界における「新興諸国とマルクス経済学」

研究に関する一覧書（上）・・・酒井 紀子

資料

南ベトナムの労働運動（1954・7～1961・7）(IV)・ボー・グエン

10月号（No. 102）

時評

パレスチナ・ゲリラ闘争の発展とリビア革命・・・・・・・・・・帯金 豊

研究

ニクソン戦略とアジア・・・・・・・・・・唐沢 敬

研究ノート

ソビエト学界における「新興諸国とマルクス経済学」

研究に関する一覧書（下）・・・酒井 紀子

資料

ナイジェリアの危機・・・・・・・・・・エスコール・トヨ

11月号（No. 103）

時評

民衆の支持をうるか—ボリビア軍事政権・・・・・・・・・・後藤 政子

研究

- I 革命家ホー・チ・ミン (II) 鈴木 正四
- II 「大躍進期」の中共の指導理論の特質について 尾崎庄太郎
- III ベトナム戦争とアメリカの平和運動 藤田 俊彦

資料

- ナイジェリアの危機 (下) エスコール・トヨ

12月号 (No. 104)

時評

- 日本民族を岐路に立たせた「日米共同声明」 土生 長穂

旅行記

- 朝鮮民主主義人民共和国を訪問して 川越 敬三

研究

- I ベトナムにおけるアメリカ新植民地主義 (上) 藤田 和子
- II 南朝鮮農業の実態 炭谷 昭子

1970年・第10巻

1月号 (No. 105)

「年頭のごあいさつ」1970年代を迎えて 岡倉古志郎

特集：60年代のAALA情勢と70年代の展望 (I)

- I AALA—60年代の総括と70年代への展望 岡倉古志郎
- II 1960年代のアジア情勢 藤田 和子
- III 1960年代のラテン・アメリカ 河合 恒生

2月号 (No. 106)

時評

「ビアフラ問題」とわが国の論調 岡倉 登志

特集：60年代のAALA情勢と70年代の展望 (II)

- I 日本経済の60年代の回顧と現状 守屋 典郎
- II 1960年代の中東・アフリカ情勢 佐野 明

資料

レーニンの思想からみた民族解放運動の若干の諸問題 (上)
 C. F. キム/A. S. カウフマン

3月号 (No. 107)

時評

新段階のラオス情勢 藤田 和子

特集：「ビアフラ」をめぐる諸問題

I 「ビアフラ問題」の歴史的背景・・・・・・・・・・岡倉 登志

II ナイジェリアの石油・・・・・・・・・・川上 誠

III 「ビアフラ問題」の若干の問題点・・・・・・・・・・寺本 光朗

研究

国際労働運動における米新植民地主義・・・・・・・・・・中尾 俊彦

資料

レーニンの思想からみた民族解放運動の若干の諸問題（下）

・・・・・・・・・・C. F. キム/A. S. カウフマン

4月号（No. 108）

時評

カンボジアの右派クーデター・・・・・・・・・・藤田 和子

研究

I 独立した旧植民地の基本課題について・・・・・・・・・・柴田 政利

II 新植民地主義に関する若干の問題点（下）・・・・・・・・・・土生 長穂

資料

キューバ革命の経験の若干の側面・・・・・・・・・・A. ポポフ

5月号（No. 109）

声明

インドシナをめぐる緊急事態についての声明・・・・アジア・アフリカ研究所

特集：重大局面を迎えたインドシナ情勢

報告

インドシナ情勢をめぐるいくつかの問題点・・・・・・・・・・土生 長穂

討論

カンボジア介入の背景と政策決定過程/アメリカのカンボジア
侵攻の戦略目的/「ニクソン・ドクトリン」の適用

研究

ベトナムにおける新植民地主義（中）・・・・・・・・・・藤田 和子

6月号（No. 110）

声明

「安保第3段階」を迎えるにあたって・・・・・・・・・・アジア・アフリカ研究所

研究

- I 中国外交の近況・・・・・・・・・・・・・・・・・・高原 七郎
- II 日本の「経済援助」の基本的特質・・・・・・・・・・辻 忠夫

7月号（No. 111）

時評

- 4年目に入った中東紛争・・・・・・・・・・・・・・・・帯金 豊

研究

- I キューバ社会主義革命の問題点（上）・・・・・・・・・・巢山 靖司
- II 「日韓経済協力」の現状・・・・・・・・・・・・・・・・檜垣 勲

報告

- 国際マルクス主義論争の若干の総括（I）・・・・・・・・・・犬丸 義一

文献紹介

- W. J. ポメロイ著『アメリカの新植民地主義』・・・・・・・・陸井 三郎

8月号（No. 112）

「インタビュー」「ファタ」のラッハマン氏にきく

研究

- I フランツ・ファノン・・・・・・・・・・・・・・・・・・福田 邦夫
- II ベトナムにおけるアメリカ新植民地主義（下）・・・・・・・・藤田 和子

資料

- 民族解放闘争にかんするレーニン（上）・・・・・・・・・・ジャック・ウォッデイス

9月号（No. 113）

時評

- 中東情勢の新たな局面・・・・・・・・・・・・・・・・帯金 豊

研究

- I 日本独占資本の沖縄「進出」の二重構造・・・・・・・・・・牧瀬 恒二
—東南アジア・日本国民を抑圧する「経済基地」としての沖縄—
- II キューバ社会主義革命の問題点（中の1）・・・・・・・・・・巢山 靖司

資料

- 民族解放闘争にかんするレーニン（下）・・・・・・・・・・ジャック・ウォッデイス

10月号（No. 114）

時評

- 最近の中東情勢—ヨルダン内戦を中心にして—・・・・・・・・岡倉 徹志

研究

- I 中東・北アフリカにおけるアメリカ新植民地主義・・・平井 文子
- II キューバ社会主義革命の問題点（中の2）・・・ 巢山 靖司

資料

発展途上国の軍隊とクーデター・・・ウィリアム・J. ポメロイ

11月号（No. 115）

時評

チリにおける人民政権成立の背景・・・後藤 政子

研究

- I 南朝鮮におけるアメリカの新植民地主義・・・川越 敬三
- II 中東・北アフリカにおけるアメリカ新植民地主義（下）・・・平井 文子

資料

国際マルクス主義論争の若干の総括（II）・・・犬丸 義一

12月号（No. 116）

特集：70年代に入ったAALA情勢（I）

- I 70年代第1年の全般的情勢とその特徴・・・岡倉古志郎
- II 1970年の中国の政治・経済・社会の動向・・・田中 寛
- III 深化する朝鮮革命・・・川越 敬三
- IV 沖縄国政参加選挙の結果と71年の展望・・・牧瀬 恒二
- V 「グアム・ドクトリン」に乗るタイ・・・桜庭 晴美
- VI 低迷するビルマ情勢・・・長沼 友兄
- VII 矛盾が先鋭化するインド・・・山田 晋

（第11巻～20巻一次号）

1971年・第11巻

1月号（No. 117）

「年頭のごあいさつ」1971年を迎えて・・・岡倉古志郎

特集：70年代に入ったAALA情勢（II）

- I 1970年日米関係の回顧・・・北田 芳治
- II 動きはじめた「マフィリンド」情勢・・・桐山 昇
- III セイロン統一戦線の勝利と展望・・・南 溪太郎
- IV 混迷深める中東・・・帯金豊・平井文子
- V 前進の糸口掴むか一黒アフリカ・・・川上 誠
- VI 新たな高揚期に入るラテン・アメリカ・・・後藤 政子

VII 「ニクソン・ドクトリン」とアメリカの対外政策・・・・・・陸井 三郎

2月号 (No. 118)

時評

インドシナ情勢の新段階・・・・・・土生 長穂

研究

I ポルトガルのギニア侵略・・・・・・川端 正久

II キューバ社会主義革命の問題点 (中の3)・・・・・・巢山 靖司

資料

誰がインドを支配しているか (上)・・・・・・コンラッド・ウッド

3月号 (No. 119)

時評

アメリカのラオス侵入と「沖縄返還協定」・・・・・・牧瀬 恒二

研究

I 「後進国開発理論」の若干の批判・・・・・・辻 忠夫

II 日本独占とラテン・アメリカ・・・・・・河合 恒生

資料

誰がインドを支配しているか (下)・・・・・・コンラッド・ウッド

4月号 (No. 120)

時評

東パキスタンの「独立」運動・・・・・・黒田 譲

座談会

ラオス侵攻の破綻とインドシナ情勢の展望・・・・・・陸井三郎・岡倉古志郎
鈴木正四・寺本光朗・吉沢 南

資料

マルクス、エンゲルスと植民地主義・・・・・・グレゴリオ・オルテガ

5月号 (No. 121)

時評

韓国の選挙とアメリカの対韓政策・・・・・・川越 敬三

研究

I 旧ベルギー領コンゴにおけるキリスト教的抵抗運動・・・・・・岡倉 登志
—キバンキズムを中心に— (上)

II キューバ社会主義革命の問題点 (下の1)・・・・・・巢山 靖司

資料

新植民地主義に奉仕するブルジョワ経済学・・・・・・・・・・ペ・フボイニク

6月号（No. 122）

声明

創立十周年にさいして・・・・・・・・・・アジア・アフリカ研究所第10回総会

決議

「沖縄返還協定」にたいする決議

・・・・・・・・・・アジア・アフリカ研究所第10回総会

座談会

パキスタン情勢をめぐって・・・・・・・・ 中村平治・岡倉古志郎・山本正・山田晋

研究

旧ベルギー領コンゴにおけるキリスト教的抵抗運動・・・・・・・・ 岡倉 登志
—キバンキズムを中心に—（下）

7月号（No. 123）

時評

ジュネーブ協定調印17周年をむかえて・・・・・・・・・・藤田 和子

研究

I フォキズムについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・河合 恒生

II キューバー社会主義革命の問題点（下の2）・・・・・・・・ 巢山 靖司

資料

ベネズエラ—資本主義的発展の10年・・・・・・・・・・ジェイムス・ペトラス

8月号（No. 124）

時評

スーダン・クーデターアラブ反帝勢力の課題・・・・・・・・・・石黒米治郎

研究

I 日本＝フランス支配下のベトナムにおける民族統一戦線運動史（1）

—ベトナム独立同盟（ベトミン）の形成・発展過程—・・ 吉沢 南

II キューバ社会主義革命の問題点（下の3）・・・・・・・・ 巢山 靖司

資料

民族解放運動の現段階と農民・・・・・・・・・・ R. ウリヤノフスキー

9月号（No. 125）

時評

ドル・ショックと沖縄・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・牧瀬 恒二
シンポジウム

ニクソン訪中をめぐる世界情勢

- I 米中接近をめぐる諸問題・・・・・・・・・・・・・・・・・・岡倉古志郎
- II インドシナ侵略戦争の破綻・・・・・・・・・・・・・・・・・・藤田 和子
- III ニクソン訪中決定をめぐる・・・・・・・・・・・・・・・・・・陸井 三郎
- IV 「文革」後の中国外交とその特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・犬丸 義一
- V 米中接近の世界史的意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・江口 朴郎

資料

新植民地主義と開発途上諸国・・・・・・・・・・エゼキアス・パパイオアンノウ

10月号（No. 126）

時評

南北両朝鮮赤十字の対話・・・・・・・・・・・・・・・・・・川越 敬三

研究

- I 国際通貨危機と「低開発国」・・・・・・・・・・・・・・・・・・北田 芳治
- II 日本＝フランス支配下のベトナムにおける民族統一戦線運動史（2）
—ベトナム独立同盟（ベトミン）の形成・発展過程—・・・・吉沢 南

資料

南アフリカの経済的膨張主義・・・・・・・・・・ゼアン・ゲルヴァン

11月号（No. 127）

時評

中国の国連復帰と国際情勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・嬉野満州雄

研究

- I キューバー対ソ接近とラテンアメリカ革命戦略・・・・・・・・・・大熊 政子
- II 日本＝フランス支配下のベトナムにおける民族統一戦線運動史（3）
—ベトナム独立同盟（ベトミン）の形成・発展過程—・・・・吉沢 南

資料

国際法からみた反ポルトガル植民地主義闘争

・・・・・・・・・・I. ブリシュチェンコ・M. ソルンツェバ

12月号（No. 128）

アジア・アフリカ研究所創立10周年記念シンポジウム

- I 世界史における民族解放運動の意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・江口 朴郎
- II 資本主義の全般的危機の現段階について・・・・・・・・・・・・・・・・・・岡倉古志郎

インタビュー

サダト政権とパレスチナ解放運動・・・・・・・・・・アヌール・アブデル・マレク

資料

反日農民運動の新たな高揚（1929～32年）（I）・・・・・・・・コ・チョンス

1972年

1月号（No. 129）

「年頭のごあいさつ」1972年を迎えて・・・・・・・・・・岡倉古志郎

特集：1971年のAALA情勢の回顧と展望

I 1971年をふりかえって・・・・・・・・・・唐沢 敬

II アジア

インドシナ人民の前進とニクソン・ドクトリンの破綻・・・・・・・・和田 正名

昨年1年間の中国の政治・経済の動向・・・・・・・・・・尾崎庄太郎

脚光を浴びる朝鮮情勢・・・・・・・・・・川越 敬三

1971年の南アジア情勢・・・・・・・・・・栗原 誠

—バングラ・デーシュ問題をめぐって—

1971年のタイ情勢・・・・・・・・・・相田 晴美

III 中東・アフリカ

試練に立つアラブ人民・・・・・・・・・・成田 良雄

黒アフリカ—困難の中で続く人民の闘争・・・・・・・・岡倉 登志

複雑な局面をむかえる西アフリカ・・・・・・・・・・小野沢正喜

IV ラテン・アメリカ

CC枢軸と新たな民族主義の高揚・・・・・・・・・・塩谷 忍

2月号（No. 130）

時評

アジア・アフリカ人民連帯機構第5回大会の意義と問題点を考える

・・・・・・・・・・成田 良雄

報告

新植民地主義とナショナリズム

・・・・・・・・・・ジューコフ・エフゲーニー・ミハイロビッチ

研究

「ポルトガル領」ギニアの民族解放闘争・・・・・・・・・・岡倉 登志

資料

反日農民運動の新たな高揚（1929～32年）（II）・・・・・・・・コ・チョンス

3月号 (No. 131)

特集：朴政権下の「韓国」の現状

- I 南朝鮮経済の破綻・・・・・・・・・・・・・・・・川越 敬三
- II 「韓国」における農業構造政策・・・・・・・・炭谷 昭子
—新植民地主義支配下の農業政策—
- III 南朝鮮の労働運動史について・・・・・・・・西条 晃
—「韓国労働運動史」の書評を中心として—

資料

南朝鮮経済の深刻な危機・・・・・・・・『労働新聞』論説

4月号 (No. 132)

時評

- I 潮流変えて和平に備える解放勢力の背景・・・・・・・・亀山 旭
- II アラブ連合王国構想とパレスチナ解放闘争・・・・・・・・成田 良雄

研究

メーラト訴訟事件について (上)・・・・・・・・山田 晋
—総括陳述を中心に—

研究ノート

勝共連合=統一教会の思想と実態・・・・・・・・南 溪太郎

資料

インドネシア：クーデター以後の五年間・・・・・・・・A. Y. ユリエフ
—若干の総括と課題—

5月号 (No. 133)

時評

- I エンクルマの生涯と思想・・・・・・・・岡倉古志郎
- II テンポを早める日本とラテン・アメリカの接近・・・・・・・・大熊 政子
—日本の対外進出のあたらしい傾向—

研究

I ベトナムにおける20世紀初頭の抗仏闘争 (上)・・・・・・・・酒井いづみ
—Phan Boi Chau の思想と活動—

II メーラト訴訟事件について (下) —総括陳述を中心に— 山田 晋

資料

レーニンと民族解放運動 (上)・・・・・・・・グレゴリオ・オルテガ

6月号 (No. 134)

時評

岐路に立つセイロン情勢—統一戦線政府の危機をめぐって—・・・山田 晋

研究

I アメリカの「抑止戦略」とニクソン訪中・訪ソ・・・・・・・山本 正

II ベトナムにおける20世紀初頭の抗仏闘争（下）・・・・・・・酒井いづみ

—Phan Boi Chau の思想と活動—

特別寄稿

中国の対外政策史の諸問題（上）・・・・・・・中西 功

資料

レーニンと民族解放運動（下）・・・・・・・グレゴリオ・オルテガ

7月号（No. 135）

研究

I 援助による従属化のなかでのインド経済の課題・・・・・・・堀中 浩

II 石油開発とリビア経済・・・・・・・田島 康弘

資料

フィリピン—新植民地主義の危機（上）・・・・・・・W. J. ポメロイ

8月号（No. 136）

研究

ソ連軍事顧問団のエジプト引揚げ・・・・・・・中村 真一

特別寄稿

「第三世界」における軍事クーデターの役割・・・・・・・ジャック・ウオデイス

中国対外政策史の諸問題（中）・・・・・・・中西 功

資料

フィリピン—新植民地主義の危機（中）・・・・・・・W. J. ポメロイ

9月号（No. 137）

研究

新植民地主義とUNCTAD・・・・・・・辻 忠夫

シリーズ：アジア革命の課題と展望（I）

南朝鮮における「経済開発計画」・・・・・・・炭谷 昭子

研究ノート

ブルンジの悲劇—その背景と若干の問題点—・・・・・・・岡倉 登志

資料

フィリピン—新植民地主義の危機（下）・・・・・・・W. J. ポメロイ

10月号 (No. 138)

時評

日中国交回復と安保・ベトナム問題・・・・・・・・・・畑田 重夫

大会参加記

第2回AA婦人会議に出席して・・・・・・・・・・藤田 和子

特集：新植民地主義とラテン・アメリカ

研究

I ラテン・アメリカの開発と低開発 (上)・・・・・・・・・・大熊 政子

II 戦後アメリカのラテン・アメリカ政策の一考察・・・・・・・・徳永 俊朗

—「米州軍」とドミニカ革命—

研究ノート

中米共同市場に関する覚書・・・・・・・・・・北山 潤

資料

ブラジル共産党の50年・・・・・・・・・・ルイス・リベイロ

11月号 (No. 139)

時評

2周年を迎えたチリ人民連合政府・・・・・・・・・・西田 豊

—アジェンダ政権下の政治と経済—

シリーズ：アジア革命の課題と展望 (2)

ネウウィン軍事政権の10年・・・・・・・・・・長沼 友兄

研究

ラテン・アメリカの開発と低開発 (下)・・・・・・・・・・大熊 政子

—工業発展とその矛盾—

特別寄稿

中国対外政策史の諸問題 (下)・・・・・・・・・・中西 功

12月号 (No. 140)

時評

タイの日本商品不買運動の意味するもの・・・・・・・・小谷 崇

特別寄稿

マルクス主義と民族解放—理論的問題の提起— (上)

・・・・・・・・・・アヌール・アブテル・マレク

研究

旧植民諸国の経済建設に関する一覚書・・・・・・・・・・柴田 政利

資料

緑の革命—その光と影（上）・・・・・・・・・・・・・・・・・・L. バグラモフ

1973年

1月号（No. 141）

「年頭のごあいさつ」1973年を迎えて・・・・・・・・・・・・・・・・・・岡倉古志郎

特集：72年のAALA情勢（上）

I 新植民地主義の破綻と深化する民族民主革命・・・・・・・・・・河合 恒生

II アジア

勝利へ大きく前進するインドシナ人民の闘争・・・・・・・・・・日隅 真澄

72年の中国の政治・経済情勢概観・・・・・・・・・・・・・・・・・・尾崎庄太郎

南北統一のゆくえ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・川越 敬三

強化されるスハルト独裁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・桐山 昇

タイーベトナム後に体制がため・・・・・・・・・・・・・・・・・・小田 晴子

激動する南アジア情勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・山田 晋

III 中東・アフリカ

つづくイスラエルの拡張主義・・・・・・・・・・・・・・・・・・中村 真一

複雑に発展するアフリカ革命・・・・・・・・・・・・・・・・・・岡倉 登志

—国家的独立をめざす運動の着実な進展と独立諸国の複雑な発展—

2月号（No. 142）

時評

I ベトナム停戦協定の意味するもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・吉沢 南

II アミルカル・カブラル氏の死を悼んで・・・・・・・・・・・・・・・・・・成田 良雄

特別寄稿

I 最近のAALAの諸問題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ジャック・ウオディス

II マルクス主義と民族解放—理論的問題の提起（下）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・アーヌル・アブデル・マレク

シリーズ：アジア革命の課題と展望（3）

タイにおける民族民主革命の諸問題・・・・・・・・・・・・・・・・・・松崎 稔

特集：72年のAALA情勢（下）

ラテン・アメリカ—反帝闘争の高揚と分極化現象・・・・・・・・・・大熊 政子

3月号（No. 143）

特集：インドシナ人民の偉大な勝利

I ラオス愛国勢力の歴史的勝利・・・・・・・・・・・・・・・・・・和田 正名

Ⅱ 座談会：「ベトナム停戦協定」をめぐって

Ⅲ 「小さい民族」の権威形成について・・・・・・・・・・斉藤 玄

資料

緑の革命—その光と影（下）・・・・・・・・・・L. バグラモフ

4月号（No. 144）

時評

Ⅰ 役者に変身したペロン・・・・・・・・・・河合 恒生

Ⅱ バングラデッシュ第一回総選挙・・・・・・・・・・山田 晋

—その結果と今後の課題—

Ⅲ 運河地帯の主権回復をめざすパナマ・・・・・・・・・・大熊 政子

研究

アジアにおける「緑の革命」と農地改革について・・・・・・・・・・堀中 浩

シリーズ：アジア革命の課題と展望（4）

フィリピン—新植民地主義と未完の革命・・・・・・・・・・深山 正光

資料

スエズ以東におけるイギリスの策略・・・・・・・・・・V. ツェレーニン

5月号（No. 145）

時評

ベトナム協定以後のアメリカのインドシナ戦略について・・・・・・・・陸井 三郎

シリーズ：アジア革命の課題と展望

（5）インド経済自立の道・・・・・・・・・・高崎 久男

（6）パキスタンの政治経済危機・・・・・・・・・・石田 一夫

資料

新植民地主義の最近の諸傾向・・・・・・・・・・E. タラブリン

6月号（No. 146）

時評

エカフェ東京総会をめぐって・・・・・・・・・・辻 忠夫

研究

「9・30事件」とインドネシアの戦後史・・・・・・・・・・桐山 昇

シリーズ：アジア革命の課題と展望（7）

バングラデッシュ—独立の諸契機と今後の課題・・・・・・・・・・山田 晋

7月号（No. 147）

訪問記

「復帰」の一年の沖縄・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 牧瀬 恒二

研究 I 「アフリカ社会主義」から科学的社会主義への発展の可能性

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 岡倉 登志

—タンザニアの場合— (上)

II 東アフリカのアジア系住民・・・・・・・・・・・・・・・・ 宮本 正興

—「アジア人問題」の歴史的背景—

資料

戒厳令下のフィリピン・・・・・・・・・・・・・・・・ フィリピン共産党

8月号 (No. 148)

時評

モザンビーク解放運動の現局面・・・・・・・・・・・・・・・・ 岡倉 登志

—大量虐殺事件によせて—

研究

I クメール文化と現代カンボジアの苦悩・・・・・・・・ 石沢 良昭

—アンコール遺跡と内線問題—

II パレスチナ抵抗運動の現状と今後・・・・・・・・ 岡倉 登志

書評

堀中 浩著『国際貿易と後進国問題』・・・・・・・・ 北田 芳治

資料

アメリカ海軍の新戦略 (上)・・・・・・・・・・・・ ミカエル・T・クレア

9月号 (No. 149)

研究

I 合衆国による後進諸国の「開発」財政・・・・・・・・ 池上 惇

—政府資本輸出と租税支配を中心に—

II アジアの共同体と文化・・・・・・・・・・・・・・・・ 石坂 一夫

—「個人崇拜」に関する覚書—

資料

アメリカ海軍の新戦略 (下)・・・・・・・・・・・・ ミカエル・T・クレア

10月号 (No. 150)

時評

チリ・九月クーデタとアメリカ・・・・・・・・・・・・ 徳永 俊明

特集：ベトナム研究

- I ベトナム八月革命前史・・・・・・・・・・・・・・・・吉沢 南
—革命前夜における新国家構想をめぐる階級対立—
- II ベトナムにおける少数民族の自治と文字の創造・・・・・・・・ 広木 克行
- III 小生産のうみだす意識について（上）・・・・・・・・・・ヴー・キエウ

11月号（No. 151）

時評

- I 第四次中東戦争とアメリカ帝国主義・・・・・・・・・・成田 良雄
- II タノム軍事政権崩壊の背景と問題点・・・・・・・・・・小田 晴子
- III 金大中事件と日本の朝鮮政策・・・・・・・・・・芳沢哲太郎

特集：現代朝鮮

- I 南朝鮮の労働者と労働運動・・・・・・・・・・川越 敬三
- II 韓国におけるセマウル運動・・・・・・・・・・炭谷 昭子
- III 社会主義企業管理についての概説・・・・・・・・・・五十嵐文雄
—朝鮮民主主義人民共和国北半部を例に—

12月号（No. 152）

73年のAALA情勢（上）

- I ベトナム和平協定後の世界情勢の特徴・・・・・・・・・・堀中 浩
- II ラテン・アメリカ
・反帝・民主主義闘争の激化と軍事支配の強化
・・・・・・・・・・ラテン・アメリカ協会
- III アフリカ
・新たな10年への出発・・・・・・・・・・岡倉登志・徳島達朗
- IV アジア
・パリ協定以後一年のインドシナ・・・・・・・・・・吉沢 南
・「二つの朝鮮」政策をめぐる抗争・・・・・・・・・・川越 敬三
・中国一対立を深める指導部・・・・・・・・・・尾崎庄太郎
・マルコス独裁体制の確立したフィリピン・・・・・・・・・・佐藤 秀貴
・ビルマー「厳正中立」政策の破綻・・・・・・・・・・長沼 友兄
・混迷を続ける南アジア情勢・・・・・・・・・・山田 晋

「総目次」アジア・アフリカ研究総目次1973年

アジアアフリカ研究特報総目次1973年

1974年

1月号 (No. 153)

「年頭のごあいさつ」 1974年を迎えて・・・・・・・・・・岡倉古志郎

73年のAALA情勢 (下)

I 中東

第4次中東戦争と石油戦略・・・・・・・・・・平井 文子

II 沖縄

危機の時代の沖縄問題・・・・・・・・・・牧瀬 恒二

III アジア・補

軍事政権の命取りになったタイ経済の悪化・・・・・・・・小田 晴子

「研究」「アフリカ社会主義」から科学的社会主義への発展の可能性・・・岡倉 登志

—タンザニアの場合— (中)

資料

労働者の参加・・・・・・・・・・アル・ジャイシュ誌

—アルジェリア労働総同盟第4回大会によせて—

2月号 (No. 154)

時評

東南アジアの反日運動と政府の対応・・・・・・・・唐沢 敬

研究

I 「アフリカ社会主義」から科学的社会主義への発展の可能性

・・・・・・・・・・岡倉 登志

—タンザニアの場合— (下)

II インドにおける労働運動の展開過程・・・・・・・・山田 晋

—1920年代を中心に— (上)

資料

ベトナムにおける小生産のうみだす意識について (中)・・・ヴー・キエウ

3月号 (No. 155)

時評

I エチオピア帝国の危機・・・・・・・・・・岡倉 登志

II 反共軍事政権による米州体制の再編・・・・・・・・河合 恒生

研究

I インドにおける労働運動の展開過程・・・・・・・・山田 晋

—1920年代を中心に— (中)

II 「国際的人権保障」論の課題・・・・・・・・城山 正幸

—理論枠組の若干の問題提起—

資料

ベトナムにおける小生産のうみだす意識について（下）・・・ ヴー・キエウ

4月号（No. 156）

時評

ラオス新政府の成立とアメリカ・・・・・・・・・・渡辺 豊

シリーズ：石油問題（1）

オイルダラーをめぐる帝国主義の動向とその意図・・・・・・・・辻 忠夫

研究

生産部隊は変革の勝利を保証するだろう

—人民連合政権下のチリの農業問題—・・・・・・・・ハシント・ナサル

5月号（No. 157）

時評

インド亜大陸の正常化をめぐる・・・・・・・・山田 晋

シリーズ：石油問題（2）の上

日本の石油政策（上）・・・・・・・・谷原 順夫

研究

大国主義と民族問題・・・・・・・・斉藤 玄

—世界社会主義体制の不健全な傾向への一批判—

資料

南アフリカ黒人労働者の強力な闘争（上）・・・・・・・・セチャバ誌

6月号（No. 158）

時評

I ポルトガル政変と植民地の動向・・・・・・・・石黒米治郎

II 中東新情勢とパレスチナ人・・・・・・・・中村 真一

シリーズ：石油問題（2）の下

日本の石油政策（下）・・・・・・・・谷原 順夫

研究

トルヒーヨ後のドミニカの政治過程・・・・・・・・徳永 俊明

資料

南アフリカ黒人労働者の強力な闘争（下）・・・・・・・・セチャバ誌

7月号（No. 159）

時評

「批林批孔」運動の意味するもの・・・・・・・・・・武内 香里
シリーズ：石油問題（3）
アラブの“石油戦略”にかんする若干のコメント・・・・・・・・・・寺本 光朗
研究
ラザク翼賛体制と東南アジアの中立化・・・・・・・・・・唐沢 敬
資料
インドネシアの動向・・・・・・・・・・B. アルチョーモフ

8月号（No. 160）

時評
キプロス紛争をめぐる陰謀・・・・・・・・・・中村 真一
シリーズ：危機の現段階と後進国（1）
崩壊過程の帝国主義と資源問題・・・・・・・・・・古川 哲
研究ノート
ハイレ・セラシュ I 世の支配体制・・・・・・・・・・岡倉 登志
—帝制危機の歴史的背景—
書評
自立を模索する「韓国経済論」・・・・・・・・・・炭谷 昭子

9月号（No. 161）

時評
ギニア・ビサウ共和国の独立とその意義・・・・・・・・・・成田 良雄
シリーズ：危機の現段階と後進国（2）
AAL Aにおける多国籍企業の進出と問題点・・・・・・・・・・堀中 浩
研究
60年代におけるチリの再生産構造（上）・・・・・・・・・・巢山 靖司
書評
キューバ革命の歴史的経験（1）・・・・・・・・・・ブラス・ロカ

10月号（No. 162）

時評
田中首相のラテン・アメリカ訪問と日本資本のねらい・・・・・・・・・・富久靖国男
研究
大戦期ベトナムをめぐる植民地支配再構成と人民の帝国主義・・新畑 一夫
—変革主体形成史の一事例研究—
シリーズ：危機の現段階と後進国（3）の上

全般的危機の把握のための準備的覚書・・・・・・・・・・柴田 政利
—全般的危機の経済理論—

紹介

リチャウコ・ペーパー・・・・・・・・・・森野 勝好
—フィリピンにおける帝国主義—

11月号（No. 163）

時評

追いつめられたチュー政権・・・・・・・・・・渡辺 豊

研究

ペルー軍事政権と民族主義・・・・・・・・・・大熊 政子
—その評価をめぐって—

シリーズ：危機の現段階と後進国（3）の下

全般的危機把握のための準備的覚書・・・・・・・・・・柴田 政利
—全般的危機の経済理論（下）—

資料

キューバ革命の歴史的経験（2）・・・・・・・・・・ブラス・ロカ

12月号（No. 164）

時評

世界食糧会議—結果と若干の特徴点・・・・・・・・・・山田 晋

特集：朝鮮問題

- I 「二つの朝鮮」政策をめぐる諸問題・・・・・・・・・・川越 敬三
- II 日本独占資本の対韓進出・・・・・・・・・・小高 平男
- III 南朝鮮労働者の組織化の実態・・・・・・・・・・炭谷 昭子
—「韓国労総」をめぐって—

「総目次」『アジアアフリカ研究』総目次 1974年1月号～12月

1975年

1月号（No. 165）

「年頭のごあいさつ」1975年を迎えて・・・・・・・・・・岡倉古志郎
<1974年のAALA情勢>

経済的独立に団結するAALA

民族民主革命の前進と資本主義の危機・・・・・・・・・・柴田 政利
国連パレスチナ決議と石油闘争・・・・・・・・・・平井 文子
高揚するアフリカの反帝半植民地主義闘争・・・・・・・・・・成田 良雄

キューバ封鎖解除とラテン・アメリカ・・・・・・・・・・河合 恒生
混迷深めるアルゼンチン・・・・・・・・・・辻 洋子
反動攻勢の1年—チリ・・・・・・・・・・徳永 俊明
中国—対立を深める2つの潮流・・・・・・・・・・尾崎庄太郎
韓国の政情不安と大国協調・・・・・・・・・・川越 敬三

2月号 (No. 166)

<1974年のAALA情勢>

経済的独立に団結するAALA (続)

危機深める74年のアジア・・・・・・・・・・アジア部会
インド経済危機の構造・・・・・・・・・・浜田 幸雄
転機にさしかかったブラジルの高度成長・・・・・・・・・・大熊 政子

研究ノート

ナイジェリアにおけるジキスト運動の経過とその意義・・・・・・・・岡倉 登志

3月号 (No. 167)

時評

全国人民代表大会の結果からみた中国の対外政策の展望とその論理
・・・・・・・・・・・・・・・・尾崎庄太郎

研究

I 「第三世界」と人口問題・・・・・・・・・・河合 恒生
—マルサス主義的見解の批判的考察— (上)
II 60年代におけるチリの再生産構造 (中)・・・・・・・・・・巢山 靖司

4月号 (No. 168)

時評

エリトリア紛争—経過と現状・・・・・・・・・・中村 真一

研究

「第三世界」と人口問題・・・・・・・・・・河合 恒生
—マルサス主義的見解の批判的考察— (下)

書評

西川潤著『資源ナショナリズム』・・・・・・・・・・堀中 浩

資料

アフリカにおける一党制の問題
—タンザニアの場合— (上)

5月号 (No. 169)

時評

I 決定的勝利をめざして進む南ベトナム・・・・・・・・・・渡辺 豊

II 完全解放の日むかえるカンボジア・・・・・・・・・・藤田 和子

研究

現代チリの形成・・・・・・・・・・徳永 俊明

—1920年代チリの「新しい体制」とアメリカ帝国主義— (上)

大会参加記

「AA婦人シンポジウム」と「パレスチナ婦人セミナー」に参加して
・・・・・・・・・・平井 文子

6月号 (No. 170)

報告

ベトナム革命の完全勝利

I ベトナム人民の歴史的勝利・・・・・・・・・・藤田 和子

—パリ協定～サイゴン解放をめぐって—

II サイゴン解放過程における主体の側の若干の問題・・・吉沢 南

研究

現代チリの形成・・・・・・・・・・徳永 俊明

—1920年代チリの「新しい体制」とアメリカ帝国主義— (下)

7月号 (No. 171)

時評

朝鮮情勢の新しい局面・・・・・・・・・・川越 敬三

研究

インドネシアにおける変革主体形成過程についての一考察・・・桐山 昇

—19世紀末から1920年代を中心に— (上)

インタビュー

ナミビア解放闘争の発展・・・・・・・・・・岡倉 登志

—SWAPOセネガル駐在本部ハディノ・ジョングワ氏に聞く—

資料

アフリカにおける一党制の問題

—タンザニアの場合— (下)

8月号 (No. 172)

特集：ベトナム革命・その歴史的勝利と展望

- ベトナム民族解放闘争の勝利の世界史的意義・・・・・・・・・・岡倉古志郎
ベトナム革命の完全勝利とアメリカの戦略・政策・・・・・・・・・・陸井 三郎
ベトナム革命の伝統・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・斉藤 玄
民族解放から社会主義へ—ベトナム革命勝利への道—・・・・・・・・藤田 和子
ベトナム人民戦争の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・和田 正名
「ポスト・インドシナ」と東南アジア・・・・・・・・・・・・・・・・唐沢 敬
ベトナム戦争と日本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・畑田 重夫

9月号（No. 173）

時評

- I 崩壊するインド民主主義・・・・・・・・・・・・・・・・・・山田 晋
—ファッショ体制への変質—
II バングラデッシュの政変とその背景・・・・・・・・・・山科 昇

研究

- インドネシアにおける変革主体形成過程についての一考察・・・桐山 昇
—19世紀から1920年代を中心に—（下）

資料

- インドービハール・ケララの闘争・・・・・・・・・・E. M. ナムブーティリパッド

10月号（No. 174）

時評

- シナイ新協定をめぐる諸問題・・・・・・・・・・・・・・・・・・平井 文子

研究

- 新興諸国の政治＝経済発展の現段階と展望・・・・・・・・・・寺本 光朗

シリーズ：AALAの婦人（1）

- インドにおける婦人解放とカースト・階級・・・・・・・・・・ゲイル・オムヴェット

11月号（No. 175）

時評

- 国連の朝鮮問題決議をめぐるって・・・・・・・・・・・・・・・・・・炭谷 昭子

研究

- I 独立後アルジェリアの政治・経済（上）・・・・・・・・・・福田 邦夫
II チリ人民連合政府の経済政策と労働者階級（上）・・・・・・・・高橋 正明

シリーズ：AALAの婦人（2）

- キューバにおける分盲一掃運動・・・・・・・・・・・・・・・・・・キューバ婦人連合

12月号 (No. 176)

時評

- I ランブイエ会談と資本主義の危機・・・・・・・・・・寺本 光朗
- II アンゴラ内戦下の独立・・・・・・・・・・岡倉 登志

研究

チリ人民連合政府の経済政策と労働者階級 (下)・・・・・・・・高橋 正明

訪問記

朝鮮問題の展望—現地での感触・・・・・・・・・・川越 敬三

書評

植民地支配の「全容」を追求：吉岡昭彦著『インドとイギリス』山田 晋

シリーズ：AALAの婦人 (3)

ベトナムにおける男女平等と婦人の権利

・・・・・・・・・・AALA婦人シンポジウムベトナム代表団

「総目次」月刊『アジア・アフリカ研究』総目次 (1975年第15巻第1号～第12号)

1976年

1月号 (No. 177)

「年頭のごあいさつ」70年代後半を迎えて・・・・・・・・・・所長 岡倉古志郎

1975年のAALA情勢・深化するAALA革命

アジア：ベトナム完全勝利とその波紋・・・・・・・・・・アジア部会

中東：転換期にたつ中東情勢・・・・・・・・・・中東・アフリカ部会

アフリカ：着実に前進するアフリカの民族民主革命・・・・・・・・中東・アフリカ部会

ラテン・アメリカ：地域協力による自立的発展へ・・・・・・・・ラテン・アメリカ部会

2月号 (No. 178)

時評

故周首相の残した足跡と今後の中国政治・・・・・・・・・・尾崎庄太郎

研究

I 朝鮮問題の国際法的側面・・・・・・・・・・川越 敬三

II 朝鮮民主主義人民共和国における経済発展6カ年計画・・五十嵐文雄

資料

エジプト共産党政治報告・・・・・・・・・・マルキシズム・トゥデイ誌

3月号 (No. 179)

時評

ロッキード問題の政治的・体制的な背景「安保・沖縄」・・・・・・・・牧瀬 恒二

研究

- I アメリカの対韓企業進出—実態と特徴— 炭谷 昭子
- II 独立後アルジェリアの政治・経済（下） 福田 邦夫

4月号（No. 180）

時評

- 天安門事件の意味するもの 栗山 敏
- タイ：反動的性格強める新政権 松崎 稔

研究

- 中東の石油価格形成に関する一覚書 寺本 光朗

書評

- A. G. フランク著
大崎正治（他）訳『世界資本主義と低開発』 堀中 浩

資料

- アフリカ化と階級闘争 D. S. シサチョ

お知らせ

創立15周年記念 研究所夏期研究セミナーのご案内

5月号（No. 181）

時評

- I ベトナム再統一選挙の意義 岩名 泰得
- II キッシンジャーのアフリカ歴訪 徳島 達朗

研究

- 現代資本主義論批判の視角 柴田 政利

研究ノート

- 現代帝国主義論をめぐる諸問題 佐藤 秀貴

6月号（No. 182）

時評

- 第4回UNCTAD総会の特徴と問題点 北田 芳治

論説

- ベトナム革命の新段階と南部の都市 藤田 和子

研究

- オイル・マネーの環流に関する諸問題 吉川 久治

資料

- ラオス革命の偉大な勝利（1962—1975） ダン・ビク・ハ

7月号 (No. 183)

時評

- I 「危機予防戦略」を模索したサンファン会議・・・・・・・・寺本 光朗
- II レバノン内戦とパレスチナ問題・・・・・・・・成田 良雄

研究

- 西イリアンをめぐる国際法の諸問題・・・・・・・・曾我 英雄
—領有権を中心として—

書評

- 隅谷三喜男著『韓国経済』の論理・・・・・・・・炭谷 昭子

8月号 (No. 184)

時評

- 岐路に立つペルーの軍事政権・・・・・・・・徳永良明・松下 洸

研究

- インドネシアの経済社会構造と開発・・・・・・・・桐山 昇
—従属的開発政策下の「地域差」についての一分析—

資料

- 非同盟主義の史的淵源 (上)・・・・・・・・エドワルド・カルデリ

9月号 (No. 185)

時評

- I ゆらぐアパルトヘイト体制・・・・・・・・水野 清
- II 第五回非同盟会議と新国際秩序・・・・・・・・唐沢 敬
- III 統一ベトナムの対ASEAN外交・・・・・・・・橋本 宏子

資料

- インドシナ共産党の戦略・組織問題 (1933年7月)
・・・・・・・・オルグワルド (解説 吉沢 南)

10月号 (No. 186)

時評

- I 毛沢東の死と華国鋒体制・・・・・・・・尾崎庄太郎
- II リヤド協定とアラブ首脳会議・・・・・・・・平井 文子
—終結に向かうレバノン内戦—

論説

- 沖縄基地確保と米・日・韓・・・・・・・・牧瀬 恒二

研究

新植民地主義論の再検討（上）・・・・・・・・・・岡倉古志郎

資料

非同盟主義の史的淵源（中）・・・・・・・・・・エドワルド・カルデリ

11月号（No. 187）

時評

I タイ・クーデターの背景と軍事政権の行方・・・・・・・・鈴木勝比古

II 米大統領とカーターの政策方向・・・・・・・・市川 国八

研究

I 日本の対外進出と資源問題・・・・・・・・小谷 崇

II 新植民地主義論の再検討（下）・・・・・・・・岡倉古志郎

資料

非同盟主義の史的淵源（下）・・・・・・・・・・エドワルド・カルデリ

12月号（No. 188）

1976年のAALA情勢

激動するAALA（I）

前進する民族解放・社会主義への潮流・・・・・・・・寺本 光朗

毛路線否定へ一歩踏み出した中国・・・・・・・・尾崎庄太郎

攻勢を開始した南部アフリカ人民・・・・・・・・岡倉 登志

ラテン・アメリカの経済統合と「集団的自立」・・・・・・・・徳永 俊明

「総目次」 月刊『アジア・アフリカ研究』1976年総目次（第16巻）

1977年

1月号（No. 189）

「年頭ごあいさつ」1977年を迎えて

「解説」カーター新政権とその新植民地主義

1976年のAALA情勢

激動するAALA（II）

新国際経済秩序へのAALAの闘い・・・・・・・・土生 長穂

ベトナム解放後の東南アジア・タイを中心として一・・・・・・・・桐山 昇

レバノン内戦と岐路に立つパレスチナ革命・・・・・・・・平井 文子

大会参加記

パレスチナ・レバノン人民支援会議に参加して・・・・・・・・久保 全雄

2月号 (No. 190)

時評

エジプトの物価暴動とサダト政権・・・・・・・・・・成田 良雄

特集：チリ革命の諸問題

I 軍政下のチリ経済・・・・・・・・・・徳永 俊明

II チリ社会党の「労働者戦線」の路線をめぐって（上）・・・高橋 正明

III チリ・クーデターとイデオロギー闘争・・・・・・・・・・後藤 政子
—ひとつの視点—

IV チリにおける農民闘争・・・・・・・・・・河合 恒生
—B. ラブマン著『農村における闘争』の紹介と論評

3月号 (No. 191)

時評

カーター政権のアジア政権と日米首脳会議・・・・・・・・・・土生 長穂

研究

I 朝鮮民主主義人民共和国の政治・経済の近況・・・・・・・・川越 敬三

II チモール併合と国際法・・・・・・・・・・曾我 英雄

研究ノート

沖縄をめぐる理論的な諸問題（1）・・・・・・・・・・牧瀬 恒二

4月号 (No. 192)

時評

インドの総選挙と南アジアの情勢・・・・・・・・・・林 太郎

研究

I 第一次大戦以前（1895—1914年）の列強の
中国分割と植民地銀行が果たした役割・・・・・・・・小島 仁

II 日本独占資本の対「韓」進出の最近の動向・・・・・・・・小高 平男
—「韓国」第4次5カ年計画への介入をめぐって—

研究ノート

沖縄をめぐる理論的な諸問題（2）・・・・・・・・・・牧瀬 恒二

5月号 (No. 193)

時評

ザイール内乱と世界資本主義・・・・・・・・・・徳島 達朗

第3回主要先進国首脳会議について・・・・・・・・・・柴田 政利

研究

フランス資本主義と植民地労働・・・・・・・・・・・・・福田 邦夫
—フランス・マグレブ間における移民労働の動向分析— (1)

研究ノート

世界経済把握のための基礎的覚書・・・・・・・・・・・・・吉浜 広救
沖縄をめぐる理論的な諸問題 (3)・・・・・・・・・・・・・牧瀬 恒二

お知らせ

第二回夏期セミナーの御案内

6月号 (No. 194)

時評

新国際経済秩序確立への一歩・・・・・・・・・・・・・寺本 光朗
海洋法会議の現段階・・・・・・・・・・・・・曾我 英雄
リカードの勝利とイスラエルの生きる道・・・・・・・・・・・・・平井 文子

研究

アフリカの軍事政権と社会主義・・・・・・・・・・・・・岡倉 登志
—コンゴ人民共和国の事例—
フランス資本主義と植民地労働・・・・・・・・・・・・・福田 邦夫
—フランス・マグレブ間における移民労働の動向分析— (2)

研究ノート

沖縄をめぐる理論的な諸問題 (4)・・・・・・・・・・・・・牧瀬 恒二

書評

湯浅赴男『第三世界の経済構造』・・・・・・・・・・・・・柴田 政利

お知らせと報告

第二回夏期セミナーについて (その2)・公開講座の結果について

7月号 (No. 195)

時評

バンス演説と対朝鮮政策・・・・・・・・・・・・・川越 敬三

研究

ペルーの「近代化」とアプリスト党の形成 (1)・・・・・・・・・・・・・松下 洵

研究ノート

沖縄をめぐる理論的な諸問題 (5)・・・・・・・・・・・・・牧瀬 恒二

書評

ヴァン・タップ著

岩名泰得訳『ベトナム戦争とアメリカ経済』・・・・・・・・・・・・・森野 勝好

8月号 (No. 196)

時評

福田首相のASEAN・東南ア諸国歴訪・・・・・・・・小谷 崇

研究

ペルーの「近代化」とアプリスト党の形成(2)・・・・・・・・松下 洸

フランス資本主義と植民地労働・・・・・・・・福田 邦夫

—フランス・マブレブ間における移民労働の動向分析—(3)

9月号 (No. 197)

時評

新陣容を整えた華国鋒体制と危ぶまれるその進路・・・・・・・・尾崎庄太郎

ラテン・アメリカの新たな勝利—新パナマ運河条約—・・・・・・・・徳永 俊明

研究

チリ社会党の「労働者戦線」の路線をめぐって(中)・・・・・・・・高橋 正明

フランス資本主義と植民地労働・・・・・・・・福田 邦夫

—フランス・マブレブ間における移民労働の動向分析—(4)

ペルーの「近代化」とアプリスト党の形成(3)・・・・・・・・松下 洸

10月号 (No. 198)

時評

どう解きほぐす「アメリカの角」紛争・・・・・・・・岡倉 登志

特集：第三世界の経済発展の過程と展望(1)

イランにおける土地改革と開発計画・・・・・・・・平井 文子

インドの経済発展と矛盾の展開—ガンディ政権下を中心に—・・山田 晋

60年代チリ経済の変化と新植民地主義・・・・・・・・徳永 俊明

11月号 (No. 199)

時評

カーター政権の対中東和平構想・・・・・・・・成田 良雄

特集：第三世界の経済発展の過程と展望(2)

「韓国」の経済成長の特徴と問題点・・・・・・・・西条 晃

「ブラジル・モデル」の論理と矛盾・・・・・・・・高橋 正明

研究

フランス資本主義と植民地労働・・・・・・・・福田 邦夫

—フランス・マブレブ間における移民労働の動向分析—(5)

学会動向

経済理論学第25回大会に出席して・・・・・・・・・・堀中 浩

12月号(No. 200)

創刊200号記念特別号

座談会

戦後のAALA研究の成果とその批判的検討—AA研を中心に—

報告 岡倉古志郎／犬丸義一／江口朴郎

柴田政利／堀中 浩／司会 寺本光朗

研究

全般的危機論といわゆる「第三世界論」・・・・・・・・・・柴田 政利

後進諸国の非資本主義的発展の諸問題・・・・・・・・・・寺本 光朗

アジアの発展途上国における資本主義発展の特徴について・・・・・・・・堀中 浩

ベトナム語—日本語成語の比較研究・・・・・・・・・・日隅 真澄

『アジア・アフリカ研究』年間総目次(1977年1～12月号)

1978年

1月号(No. 201)

「年頭のごあいさつ」1978年を迎えて・・・・・・・・・・岡倉古志郎

特集：進歩と反動の交錯するAALA—1977年

カーター政権と第三世界・・・・・・・・・・陸井 三郎

1977世界経済情勢—AALAとの関係を中心に—・・・・・・・・北田 芳治

新たな団結と前進をせまられるAALA・・・・・・・・・・河合 恒生

各地域の情勢・・・・・・・・・・アジア=桐山昇／中東=吉浜広救

アフリカ=岡倉登志／ラテン・アメリカ=山田誠治

2月号(No. 202)

時評

ベトナム・カンブチア国境紛争の意味するもの・・・・・・・・杉原 繁

論説

新植民地から社会主義へ—変わりつつある南ベトナム—・・・・・・・・藤田 和子

特集：第三世界の経済発展の過程と展望(完)

独立後タンザニアの社会経済構造の変化・・・・・・・・岡倉 登志

—経済計画・経済構造・階級構成—

アルジェリア社会経済構造の基本的性格・・・・・・・・福田 邦夫

—経済開発の課題と問題—

戦後タイの経済構造の変化・・・・・・・・中村 栄

3月号 (No. 203)

時評

中国社会主義は正しい軌道に乗ったか・・・・尾崎庄太郎

研究

中南米におけるナショナリズム・・・・河合 恒生

研究ノート

ローデシア—経済制裁の経過および新局面・・・・田中 武己

書評

大阪市立大学経済研究所

尾崎彦朔・奥村茂次編『多国籍企業と発展途上国』・・・・朝倉 明

4月号 (No. 204)

時評

イスラエルのレバノン侵攻と中東の今後・・・・吉浜 広救

研究

中国の五期「全人代」と経済発展計画・・・・米沢 秀夫

東南アジアの「民族」をめぐる問題・・・・桐山 昇

—民族的運動と経済開発に関する一考察—

研究ノート

タンザニア「社会主義」についての覚書・・・・岡倉 登志

書評

宮治一雄『アフリカ現代史』V・・・・福田 邦夫

5月号 (No. 205)

時評

朝鮮問題をめぐる外交的攻防・・・・川越 敬三

アフガニスタン・クーデターとその波紋・・・・田代 洋一

総選挙はマルコス独裁の仕上げとなったか・・・・佐藤 秀貴

研究

サバ領有権紛争の国際法的評価 (1)・・・・曾我 英雄

研究ノート

アルジェリアにおける「共同体的土地所有」・・・・福田 邦夫

—フランスによる植民地主義支配以前の土地所有の諸形態について— (1)

書評

V. バンビラ著『ラテン・アメリカの従属資本主義』・・・・麻生 啓

お知らせ

アジア・アフリカ研究所第3回夏期セミナーの御案内

6月号（No. 206）

時評

「華僑」問題をめぐる中国・ベトナム関係・・・・・・・・・・森本 哲也
ザイールにおける内乱と「再植民地化」・・・・・・・・・・田中 武己

研究

サバ領有権紛争の国際法的評価（2）・・・・・・・・・・曾我 英雄

研究ノート

アルジェリアにおける「共同体的土地所有」・・・・・・・・・・福田 邦夫
—フランスによる植民地主義支配以前の土地所有の諸形態について—（2）

滞在記

ハノイ雑感・・・・・・・・・・古田 元夫

7月号（No. 207）

時評

ペルー：揺れるモラレス政権・・・・・・・・・・徳永 良明

研究

「経済開発」論と途上国経済社会構造・・・・・・・・・・桐山 昇
—インドネシアを一つの事例として—（1）

研究ノート

アルジェリアにおける「共同体的土地所有」・・・・・・・・・・福田 邦夫
—フランスのよる植民地主義支配以前の土地所有の諸形態について—（完）

書評

杉本昭七著『現代帝国主義の基本構造』・・・・・・・・・・堀中 浩

8月号（No. 208）

時評

アメリカは東南アジア「復帰」を図ったか・・・・・・・・・・斉藤 和男
—アメリカ・ASEAN閣僚会議の示唆するもの—

研究

「経済開発」論と途上国経済社会構造・・・・・・・・・・桐山 昇
—インドネシアを一つの事例として—（2）

チリ社会党の「労働者戦線」の路線をめぐって（下）・・・・・・・・高橋 正明

9月号 (No. 209)

時評

ソモサ独裁とアメリカの「調停」・・・・・・・・・・佐藤ひろ子

研究

インド経済開発の特質と若干の諸問題—序論的考察—・・・・山田 晋
「経済開発」論と途上国経済社会構造・・・・・・・・桐山 昇
—インドネシアを一つの事例として— (3)

資料

チリ・ファシズムの社会経済「モデル」・・・・・・・・A. アトロシェンコ

10月号 (No. 210)

時評

キャンプ・デービッドの「合意」と中東和平・・・・・・・・吉浜 広救

研究

中国の対外戦略とその現局面の諸特徴・・・・・・・・尾崎庄太郎

研究ノート

ベトナム新憲法草案の討論によせて・・・・・・・・高世 仁
—草案討論および草案内容の紹介・検討—

11月号 (No. 211)

時評

燃え上がるイランの反国王闘争・・・・・・・・平井 文子

研究

発展途上国の工業化と工作機械・・・・・・・・森野 勝好
東チモールの現状—その国際法的分析— (1)・・・・曾我 英雄

12月号 (No. 212)

特集：1978年のアジア・アフリカ・ラテンアメリカ

ベトナム・インドネシア情勢の問題点・・・・・・・・古田 元夫
中国の経済・対外政策の特徴点・・・・・・・・高橋克伸／芹田道子
「西側諸国」の主導権の後退—南部アフリカ—・・・・田中 武己
革命4周年を迎えたエチオピア・・・・・・・・岡倉 登志
ラテン・アメリカの軍事政権の動向—軍部の内部分裂と孤立化の進展—
・・・・・・・・後藤 政子

1978年の情勢研究会での討論のまとめ・・・・・・・・堀中 浩

月刊『アジア・アフリカ研究』(第18巻)年間総目次(1978年1月～12月)

1979年

1月号 (No. 213)

「年頭のごあいさつ」1979年を迎えて・・・・・・・・・・岡倉古志郎

時評

カンボジア新政権の樹立を考える・・・・・・・・・・藤田 和子

論説

有事立法と沖縄問題についての覚書・・・・・・・・・・牧瀬 恒二

研究

東チモールの現状—その国際法的分析— (2)・・・・・・・・・・曾我 英雄

資料

新植民地主義に関する最近の諸見解 (1)

2月号 (No. 214)

時評

中国語ベトナム侵略と報道・・・・・・・・・・斉藤 和男

研究

発展途上国の工業化とその性格・・・・・・・・・・森野 勝好

—International Sub-Contracting と Free Zone—

民政復帰をめざすアフリカの軍事政権・・・・・・・・・・奥野 保男

—ナイジェリア、ガーナ、オートボルタの場合—

書評

Jack Woddis: Armies and Politics・・・・・・・・・・巢山 靖司

—チリ革命論を中心に—

資料

新植民地主義に関する最近の諸見解 (2)

3月号 (No. 215)

時評

ベトナム侵略と「民主」の行方・・・・・・・・・・松永 義衛

イラン革命の背景と今後・・・・・・・・・・吉浜 広救

研究

60年代におけるチリの再生産構造 (下)・・・・・・・・・・巢山 靖司

資料

新植民地主義に関する最近の諸見解 (3)

4月号 (No. 216)

特集：中国・ベトナム・カンボジアと社会主義の諸問題

シンポジウム：中国・ベトナム・カンボジア

報告

- I カンボジア革命の現実・・・・・・・・・・・・・・・・藤田 和子
II ベトナムのカンボジア支援の意味・・・・・・・・古田 元夫
III 中国の事態をどうみるか・・・・・・・・・・犬丸 義一
—ベトナム侵略の背景及び社会主義の検討—

紀行

インドシナ紀行・・・・・・・・・・・・・・・・日隅 真澄

書評

- 『カンボジアはどなっているか』本多勝一著
・・・・・・・・・・・・・・・・大橋 順一
『カンボジア・0年』フランソワ・ポンジョ著

資料

新植民地主義に関する最近の諸見解（完）

5月号（No. 217）

時評

アミン政権崩壊の背景・・・・・・・・・・・・・・・・岡倉 登志

研究

- 資本、土地所有、植民地主義・・・・・・・・堀中 浩
経済的独立のための農業開発・・・・・・・・田中 武己
—タンザニアの開発戦略の検討—（上）

資料

インドシナ共産党政治綱領（1930年10月）

6月号（No. 218）

時評

UNCTADマニラ総会・・・・・・・・・・・・・・・・北田 芳治

研究

- ラテンアメリカ研究をどうすすめていくか・・・・・・・・高橋 正明
—その課題と方法についての試論—（上）
経済的独立のための農業開発・・・・・・・・田中 武己
—タンザニアの開発戦略の検討—（下）

書評

ジョン・K・ガルブレイス著『大衆的貧困の本質』・・・・・・・・小谷 崇

7月号 (No. 219)

時評

東京サミットの意味するもの・・・・・・・・・・畑田 重夫

研究

ラテンアメリカ研究をどうすすめていくか・・・・・・・・・・高橋 正明
—その課題と方法についての試論— (下)

学会動向

日本貿易学会に出席して・・・・・・・・・・柴田 政利

資料

アフガニスタンにおける農業生産の諸問題

8月号 (No. 220)

時評

ベトナム「難民」問題を考える・・・・・・・・・・鈴木勝比古

論説

ニカラグラ革命をめぐる・・・・・・・・・・徳永 俊明

研究ノート

石油不安の検討・・・・・・・・・・唐沢 敬

ベトナムにおける法典化論・・・・・・・・・・高世 仁

訪問記

ソ連・ユーゴのAALA研究機関・・・・・・・・・・土生 長穂

9月号 (No. 221)

論説

韓国の物価暴騰とインフレーション・・・・・・・・・・西条 晃

研究

新国際経済秩序 (NIEO) における国際法問題・・・・・・・・・・曾我 英雄
—国有化と海洋法を中心として—

チリ人民戦線下の新しい文学世代と運動・・・・・・・・・・大久保光夫
—ニコメーデス・グスマンを中心とする38年の世代の形成と性格について—

10月号 (No. 222)

時評

第6回非同盟諸国首脳会議について・・・・・・・・・・土生 長穂
—非同盟の原則の発展—

研究

ラテン・アメリカにおけるネオ・ファシズム政権の問題を巡って・後藤 政子
研究ノート

N I E Oに関するノート・・・・・・・・・・・・・・・・寺本 光朗
アジット・ロイ氏に聞くーインドの政治危機の現局面

11月号（No. 223）

時評

朴射殺とその問題・・・・・・・・・・・・・・・・炭谷 昭子

研究

アジアの社会主義を考える・・・・・・・・・・・・・・・・川越 敬三
ー朝鮮社会主義への試論を中心にー（上）

研究ノート

対外経済関係自主化の闘争・・・・・・・・・・・・・・・・田中 武己
ータンザニア非同盟外交の経済的側面ー

12月号（No. 224）

特集：80年代AALA情勢への視点（I）

80年代の課題ーアジアの70年代をふりかえりつつー・・・・・・・・堀中 浩

70年代の中東における民族解放運動・・・・・・・・・・成田 良雄

70年代ブラック・アフリカの政治情勢の総括と80年代への展望

・・・・・・・・・・・・・・・・アフリカ研究会

ラテン・アメリカー自立への出発点としての70年代ー

・・・・・・・・・・・・・・・・アフリカ研究会

1980年

1月号（No. 225）

特集：80年代・AALA情勢への視点（II）

70年代のAALA情勢の特徴と80年代への展望・・・・・・・・岡倉古志郎

「年頭のごあいさつ」80年代を迎えて・・・・・・・・岡倉古志郎

近年の民族解放運動の特徴（上）・・・・・・・・寺本 光朗

70年代の非同盟運動と80年代の展望・・・・・・・・土生 長穂

オイル・マネーの動向と国際金融情勢・・・・・・・・吉川 久治

2月号（No. 226）

時評

アフガニスタンの政変と同国人民民主党・・・・・・・・成田 良雄

研究

アジアの社会主義を考える・・・・・・・・・・・・・・・・川越 敬三
—朝鮮社会主義への試論を中心に—

資料

ベトナム社会主義共和国憲法草案

3月号 (No. 227)

時評

ジンバブエ愛国戦線の勝利と南部アフリカ情勢・・・・・・・・田中 武己

研究

近年の民族解放運動の特徴 (中)・・・・・・・・寺本 光朗
韓国・李承晩政権の倒壊とその意味—「4・19」再考— (上) 文 京洙

4月号 (No. 228)

研究

韓国・李承晩政権の倒壊とその意味—「4・19」再考— (下) 文 京洙

ノート

ニカラグア革命の意義と性格をめぐって・・・・・・・・徳永 俊明

資料

インドーその政治発展の新局面・・・・・・・・E. N. S. ナンブーディリバード

5月号 (No. 229)

時評

朴亡き体制の矛盾—光州事件—・・・・・・・・炭谷 昭子

研究

近年の民族解放運動の特徴 (下)・・・・・・・・寺本 光朗

研究ノート

社会主義へのマダガスカルの道・・・・・・・・岡倉 登志
—フクヌルナ社会主義—

6月号 (No. 230)

論潮

最近の南アフリカ情勢について・・・・・・・・伊部 正之

研究ノート

OPEC石油価格をめぐる若干の考察・・・・・・・・唐沢 敬

資料

1973年から1979年のイスラエルの中のアラブ人 (上)

.....サブリー・ジュリーイス

7月号 (No. 231)

研究

ラテンアメリカの近代と現代—60年代を境として—.....後藤 政子
戦後世界政治と非同盟運動 (上).....土生 長穂

資料

1973年から1979年のイスラエルの中のアラブ人 (下)

.....サブリー・ジュリーイス

8月号 (No. 232)

論潮

依然として虚飾をつづける中国の政協会議と全人代大会について

.....尾崎庄太郎

研究

戦後世界政治と非同盟運動 (下).....土生 長穂

研究ノート

タンザニアにおけるマジマジ叛乱 (1905~07).....岡倉 党志

訪問記

ハノイで見たこと聞いたこと.....高世 仁

9月号 (No. 233)

紹介

Mai PALMBERG, Problems of Socialist Orientation in Africa,

.....森岡 浩

資料

新国際経済秩序確立の闘争を論ず.....巫 寧耕

研究ノート

黒いアフリカにおける鉄道建設と植民地経済の発展.....岡倉 登志

資料

IMFと第三世界—ジャマイカの場合—.....ノーマン・ギルバン他

10月号 (No. 234)

研究

世界経済の再編成と新国際経済秩序 (上).....堀中 浩

リビアの経済開発—農業および工業開発を中心に— 田島 康弘
資料

IMFと第三世界 (II) ノーマン・ギルヴァン他
—ジャマイカの事例1974—80—

11月号 (No. 235)

紹介

非同盟の理論的・実証的解明
—土生長穂『戦後世界政治と非同盟』 岡倉 古志郎
—奥野保男『非同盟』

研究

世界経済の再編成と新国際秩序 (下) 堀中 浩

資料

I 新植民地主義戦略における「援助」 N. シモニア
II IMFと第三世界 (III) ノーマン・ギルヴァン他
—ジャマイカの場合1974—80—

12月号 (No. 236)

研究

非同盟運動前史に関する一考察 (上) 岡倉 古志郎

特集：1980年の情勢をめぐる回顧と展望 (I)

インドシナの現状と展望 藤田 和子
—発展途上社会主義国のかかえる諸問題—

1980年の韓国情勢 西條 晃
—「維新体制」が強化された一年—

アラブ世界の再編とアメリカの中東政策 岡倉 徹志

1981年

1月号 (No. 237)

論潮

レーガン政権の基本的性格について 陸井 三郎

研究

非同盟運動前史に関する一考察 (下) 岡倉 古志郎

特集：1980年の情勢をめぐる回顧と展望 (II)

南部アフリカにおける民族解放運動と若干の特徴 伊部 正之

2月号 (No. 238)

解説

キューバ共産党第2回大会—基調報告を中心として— 後藤 政子

調査報告

密林に花咲いたアンコール文明 石沢 良昭

—カンボジアのアンコール遺跡調査報告—

研究動向

S・アミンの「周辺資本主義構成体」について 堀中 浩

特集：1980年の情勢をめぐる回顧と展望 (Ⅲ)

鄧小平派の攻勢と調整の強化—1980年の中国内政— 味岡 徹

ラテン・アメリカ矛盾の深化— ラテン・アメリカ協会

3月号 (No. 239)

資料紹介

国連におけるカンボジア代表権問題—その法的価値— (上)

. 曾我 英雄

—その法的諸側面—

インドネシアにおける華僑問題 川崎 広人

資料

ニカラグアの新生活 S・ロセフ

4月号 (No. 240)

ごあいさつ 岡倉 古志郎

韓国の低賃金事情 鄭 章淵

資料

新興諸国の経済発展戦略 アナトリー・ディンケビッチ

ノート

黒人奴隷制研究ノート 神代 修

書評

吉沢 南著『ハノイで考える』をめぐって 古田 元夫

AAALA日誌 (1981年2月)

『月刊アジア・アフリカ研究』総目次 (第1～10巻)

5月号 (No. 241)

時評

ライシャワー発言と沖縄・安保 牧瀬 恒二

資料紹介

レ・ズアン「新しい憲法、社会主義的集団主人制度の憲法」

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・高世 仁

ノート

タンザニア雑感・・・・・・・・・・・・・・・・吉川 久治

書評

R.スタベンハーゲン著『開発と農民社会』・・・・・・・・徳永 俊明

AA 日誌 (1981 年 3 月)

『月刊アジア・アフリカ研究』総目次 (第 1~21 巻第 4 号)

6 月号 (No. 242)

時評

アラブ 9 カ国を回って 聞いたこと、感じたこと

・・・・・・・・・・・・・・・・岡倉 徹志

ファショダ事件前後の国際関係—帝国主義研究の方法に関連して—

・・・・・・・・・・・・・・・・岡倉 登志

資料紹介

インドネシアにおける華僑問題 (II)

—華僑・華人の経済的发展: アジチョンドロの論文紹介—

資料

国際独占体—新植民地主義の武器—E・スコビッチ

書評

大阪市立大学経済研究所/尾崎彦朔編『第 3 世界と国家資本主義』(その 1)

・・・・・・・・・・・・・・・・経済研究会

AAALA 日誌 (1981 年 4 月)

『アジア・アフリカ経済特報』総目次 (第 11 巻~第 21 巻第 3 号)

お知らせ

第 6 回アジア・アフリカ研究所夏季セミナーのご案内

7 月号 (No. 243)

時評

新段階を迎えたイラン革命・・・・・・・・平井 文子

特集: <南北問題>の再検討 (I)

産油国と開発問題—石油依存がもたらす否定的側面—・・・・・・・・唐沢 敬

民族主義の時代：試論（上）・・・・・・・・・・・・・・・・・・中尾 俊彦
“UNIDO 第3回総会”と発展途上国の工業化・・・・・・・・・・森野 勝好
書評
Peter Willetts, THE NON-ALIGNED IN HAVANA・・・・・・・・・・奥野 保男
遊 仲勲他著『南北問題を見る眼』・・・・・・・・・・柴田 政利
AALA 日誌（1981年5月）
AALA 研究外国文献紹介

8月号（No. 244）

時評

「カンボジア問題国際会議」をめぐって・・・・・・・・・・古田 元夫
特集 <南北問題>の再検討（Ⅱ）
NIEOの「原理」的検討・・・・・・・・・・珠玖 拓治
アグリビジネス多国籍企業と
発展途上国の農業・食糧問題（上）・・・・・・・・・・森井 淳吉
コメコンのエネルギー問題と発展途上国・・・・・・・・・・玉木 令仁
民族主義の時代：試論（下）・・・・・・・・・・中尾 俊彦
非同盟運動研究文献解題・・・・・・・・・・土生 長穂
書評
ハリー・マグドフ著、大阪経済法科大学研究所訳
『帝国主義—植民地期から現在まで』・・・・・・・・・・辻 忠夫
AALA 日誌（1981年6月）
AALA 研究外国文献紹介（América Latina）

9月号（No. 245）

時評

新たな段階を迎えた日韓経済協力
一日韓定期閣僚会議をめぐって・・・・・・・・・・小高 平男
小特集：キューバ革命をめぐって
キューバの社会主義と官僚制・・・・・・・・・・河合 恒生
キューバ社会主義農業における協同化への道
・・・・・・・・・・オルランド・ゴメス
書評 バニア・バンビーラ著、神代修訳
『キューバ革命の再解釈』・・・・・・・・・・井上 修
資料紹介

国連におけるカンボジア代表権問題—その法的価値— (中)

..... 曾我 英雄

AAALA 日誌 (1981年7月)

AAALA 研究外国文献紹介 (The Middle East Journal [I])

10月号 (No.246)

イランにおける土地問題—その民主的解決方法について

..... マラケ・マフマディ

アグリビジネス多国籍企業と発展途上国の農業・食糧問題 (下)

..... 森井 淳吉

資料紹介

国連におけるカンボジア代表権問題—その法的諸側面— (下)

..... 曾我 英雄

書評

大阪市立大学経済建機有書/尾崎彦朔編

『第3世界と国家資本主義』(その2) 経済研究会

AAALA 日誌 (1981年8月)

AAALA 研究外国文献紹介 (The Middle East Journal [II])

11月号 (No.247)

時評

ポスト・サダトのエジプトのゆくえ 平井 文子

特集: AALA 教育とその現状

〈座談会〉 AALA 認識と中・高等教育のあり方

..... 飯郷 茂 板東 淑子 木村 恒一郎 (司会)

岡倉 登志 鈴木 亮 岡部 広治 中田 順子 堀中 浩

高校「現代社会」とアジア・アフリカ・ラテン=アメリカ

..... 石出 法太・鳥山 孟郎

第6回 AA 研夏季セミナー〈報告〉、コメント (要旨)

AAALA 日誌 (1981年9月)

AAALA 研究外国文献紹介

The International Journal of African Historical Studies

12月号 (No.248)

特集: 1981年の AALA 情勢をめぐって (I)

米・日・韓関係の一年 畑田 重夫

緊張増した中米・カリブと南米における新自由主義の進行

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ラテン・アメリカ部会

レーガン政権とアフリカ情勢 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 奥野 保男

東南アジア6カ国の動向 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 東南アジア研究会

全体制安定化の準備の年 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 炭谷 昭子

<印象記>

南アジアを旅して ・・・・・・・・・・・・・・・・ 和田 幸子

AAALA 日誌 (1981年10月)

AAALA 研究外国文献紹介

1982年・第22巻

1月号 (No. 249)

新しい年を迎えるに当って・・・・・・・・・・・・・・・・ 岡倉 古志朗

特集：1981年のAAALA情勢をめぐって (II)

激動の時代の基礎的視点・・・・・・・・・・・・・・・・ 徳永 俊明

中東：新たな平和の条件を模索して・・・・・・・・ 平井 文子

1981年の日本とAAALA諸国との関係

—日本の経済協力を中心にして—・・・・・・・・ 小谷 崇

資料1

現代中国の経済発展と科学技術 ・・・・・・・・ 千 光巳

資料2

イランにおける土地問題 (II)

—その民主的解決方法について—・・・・・・・・ マラケ・マフマディ

AAALA研究外国文献紹介

(Latin American Perspectives) (I)

月刊『アジア・アフリカ研究』年間総目次 (1981年・第21巻)

2月号 (No. 250)

創刊250号記念特集号

時評

レーガン「予算教書」にしめされた危険な本質・・・・・・・・ 瀬戸岡 紘

特集：現代世界をどうみるか

社会主義に関する諸概念の再検討・・・・・・・・ 江口 朴郎

社会主義について考える・・・・・・・・ 副島 種典

アミン理論に関する覚書 (上)・・・・・・・・ 寺本 光朗

新国際情報秩序と非同盟諸国通信社プール（上）・・・・・・・・・・奥野 保男
AALA日誌（1981年12月）

3月号（No. 251）

時評

中米の解放運動の進展とレーガンの政権の中米政策・・・・・・・・・・後藤 政子
ベトナム第1次5カ年計画の考察
—発展途上国における社会主義経済建設をめぐる—・・・・・・・・・・藤田 和子
新国際情報秩序と非同盟諸国通信社プール（下）・・・・・・・・・・奥野 保男

印象記

東南アジアを旅して
—現地で感じた経済諸問題—・・・・・・・・・・森井 淳吉

資料

イランにおける土地問題（Ⅲ）
—その民主的解決方法について—・・・・・・・・・・マラケ・マフマディ
AALA日誌（1982年1月）
AALA研究外国文献紹介（Ⅱ）

4月号（No. 252）

東南アジア賠償と東南アジア貿易（上）・・・・・・・・・・小林 英夫
戦後日本の経済発展と貿易構造の変化
—対米・対東南アジア貿易を中心に—・・・・・・・・・・中嶋 慎治

資料

国際経済関係の再編成と新植民地主義・・・・・・・・・・L. カピッツァ, Y. フォードロフ
AALA日誌（1982年2月）
AALA研究外国文献紹介

5月号（No. 253）

時評

フォークランド紛争・・・・・・・・・・後藤 政子
ソ連科学アカデミー東洋学研究所における
AALA研究の紹介と研究動向・・・・・・・・・・A. I. レフコフスキー

資料紹介

『アジア・アフリカの諸民族』誌の紹介・・・・・・・・・・木村 紀子
自力更生路線と外資依存経済（Ⅰ）
—アミン理論に対するインドネシア研究者の批判—・・・・・・・・・・川崎 広人

資料

インド経済の発展戦略の調整について 彭 盛琪, 李 徳昌
A A L A 日誌 (1 9 8 2 年 3 月)

6 月号

特集 : A A L A 教育のために

A A L A 教育のために 編 集 部
教育における A A L A

アジアをどう学ぶか 木村 宏一郎
高校世界地理学習で何をどう教えるか :

A A L A について 飯郷 茂
世界教育と A A L A 佐々木 省三

A A L A の現代的意義

民族自決と世界平和の不可分性の追求 岡倉 古志郎
現在の A A L A と日本、日本人 江口 朴郎
核軍拡時代とアジア・アフリカの役割 鈴木 正四
A A L A 講座のために 岡部 廣治

A A L A の現在をどう考えるか

(I) 総 論 吉沢 南
(II) ア ジ ア 桐山 昇
(III) ア フ リ カ 岡倉 登志
(IV) 中 東 平井 文子
(V) ラテンアメリカ 岡部 廣治

A A L A 日誌 (1 9 8 2 年 4 月)

7 月号 (No. 2 5 5)

特集 : 嵐の中の中東

イスラエルのレバノン侵攻とアラブ世界 岡倉 徹志
レーガンの対中東政策—その展開と危険性— 成田 良雄
イスラエルの反政府勢力 幸田 暖
イスラエル・シオニスト軍によるレバノン侵略戦争
—その構図と諸問題— 小林 弘一
ナーセリズム研究序説 斉藤 真

A A L A 日誌 (1 9 8 2 年 5 月)

8月号 (No. 256)

江口朴郎教授の「社会主義に関する諸概念の再検討」を読む・・・ 斉藤 玄

自力更正路線と外資依存経済 (2)

—アミン理論に対するインドネシア研究者の批判—・・・ 川崎 広人

資料

<メキシコ型開発モデル> : 国家と国内大資本との関係・・・ S. ポチャタリョフ
発展途上国における

アメリカのイデオロギー的膨張・・・エヌ・イエルモシキンヤ・モーヴァ
イランにおける土地問題 (IV)

—その民族的解決方法について—・・・マラケ・マフマディ
AALA日誌 (1982年6月)

AALA研究外国文献紹介

9月号 (No. 257)

時評

レバノン紛争の帰結と今後の展望・・・ 斉藤 真

特集 : 「アジア的社会」の特質と社会構成体論

ターイ族の首長

—マイチャウの「ムオン (村落) 規則」の分析—・・・ 吉沢 南

アフリカにおける「貢納制的生産様式」社会

—サモリ帝国の事例について—・・・ 岡倉 登志

読書ノート

社会構成体論の認識レベルと自己限定

—芝田進午『現代民主主義と社会主義』を読んで—・・・ 小谷 汪之
AALA日誌 (1982年7月)

10月号 (No. 258)

時評

中国共産党第12回大会について—胡耀邦報告を読んで—・・・ 田中 祥之

アミン理論に関する覚書書 (II)・・・ 寺本 光朗

書評

坂本義和編『暴力と平和』を読む—発展途上国の国家を中心に—・・・ 堀中 浩

訪問記

1982年夏ベトナムで・・・ 古田 元夫

資料

非同盟運動内部における紛争と対立の解決策・・・・・・・・・・ V. D. デガン
AALA日誌（1982年8月）

11月号（No. 259）

時評

『中国近現代経済史・学術座談会』に出席して・・・・・・・・・・ 西村 成雄
韓国の経済開発と貧困の増大・・・・・・・・・・ 炭谷 昭子
戦後日本独占資本主義体制の成立と構造・・・・・・・・・・ 守屋 典郎
東南アジア賠償と東南アジア貿易（下）・・・・・・・・・・ 小林 英夫

解説

マラケ・マフマディ「イランにおける土地問題」・・・・・・・・・・ 巢山 靖司
AALA日誌（1982年9月）

特集：1982年のAALA情勢をめぐって

アジア：1980年代の経済危機とその見通し・・・・・・・・・・ 川崎 広人
日本の教科書検定へのアジア諸国の抗議
一つきあげられた日本国民一・・・・・・・・・・ 炭谷 照子
転換期に立つ中東・・・・・・・・・・ 平井 文子
「オイルブラッド」と中東経済の構造的矛盾・・・・・・・・・・ 幸田 暖
多元化傾向が強まるアメリカ・・・・・・・・・・ 奥野 保男
ラテン・アメリカー政治闘争の活発化、経済危機・・・・・・・・ 後藤 政子、徳永俊明
AALA日誌（1982年10月）

『月刊アジア・アフリカ研究』年間総目次（1982年・第22巻）

1983年・第23巻

1月号（No. 261）

新しい年を迎えるに当って・・・・・・・・・・ 岡倉古志郎

特集：世界経済危機と発展途上国

世界経済危機と発展途上国・・・・・・・・・・ 陸井 三郎
発展途上国の対外累積債務問題と国際信用危機・・・・・・・・ 吉川 久治
メキシコにおける国家と労働運動の一考察
—1933年～36年を中心に—・・・・・・・・・・ 松下 冽

AALA日誌（1982年11月）

2月号（No. 262）

特集：東南アジアの社会と住人

タイにおける相続慣行と借地関係・・・・・・・・・・・・・・・・田坂 敏雄
オランダ植民地支配と東部スマトラ社会の再構成
—デリー・タバコ生産地帯の農民と労働者—・・・・・・宮本 謙介
ターイ族の首長制
—役職者の位置と村落の構造— (上)・・・・・・・・吉沢 南
AALA日誌 (1982年12月)

3月号 (No. 263)

時評

第16回PNC政治決議とPLOの今後・・・・・・・・・・岡倉 徹志

特集：メキシコの国家的危機

1970年代メキシコの政治危機と政治改革・・・・・・・・松下 冽
メキシコの財政危機・・・・・・・・・・河合 恒生

資料

現代資本主義のなかのラテン・アメリカ (上)・・・・・・・・V. ヴォルスキー
アミン理論に関する覚書 (III)・・・・・・・・寺本 光朗
AALA日誌 (1983年1月)

4月号 (No. 264)

国際金融不安と累積債務問題をどうみるか

—通説の再検討を含めて— (上)・・・・・・・・小谷 崇
東欧諸国の対外累積債務問題・・・・・・・・・・玉木 令仁
ターイ族の首長制

—役職者の位置と村落の構造— (下)・・・・・・・・吉沢 南

AALA日誌 (1983年2月)

5月号 (No. 265)

わが国自動車産業の国際的展開と下請中小企業の再編成・・・・中嶋 慎治
今日の石油問題と「第三世界」

—強化される国際金融資本の収奪体制— (I)・・・・・・・・唐沢 敬

アミン理論に関する覚書 (IV)・・・・・・・・寺本 光朗

資料

現代資本主義のなかのラテン・アメリカ (下)・・・・・・・・V. ヴォルスキー
AALA日誌 (1983年3月)

6月号 (No. 266)

時評

- 南アフリカ軍のモザンビク攻撃事件・・・・・・・・・・ 田中 武巳
第7回非同盟諸国首脳会議について・・・・・・・・・・ 文 京洙
ASEAN：地域的国際機構と諸国家
 —「地域主義」に関する覚書—（上）・・・・・・・・・・ 桐山 昇
国際金融不安と累積債務問題をどうみるか
 —通説の再検討を含めて—（下）・・・・・・・・・・ 小谷 崇

7月号（No. 267）

特集：アジアの社会主義（その1）

- 朝鮮の人民政権と憲法—その歴史的考察—（1）・・・・・・・・・・ 大内 憲昭
社会主義ベトナムにおける民族識別の一断面
 —トゥズィ, ボイの事例を中心として—・・・・・・・・・・ 古田 元夫
ASEAN：地域的国際機構と諸国家
 —「地域主義」に関する覚書—（下）・・・・・・・・・・ 桐山 昇

8月号（No. 268）

特集Ⅰ：東南アジアをどう教えるか

- 社会科教育の課題としての東南アジア
 —インドネシアを中心に—・・・・・・・・・・ 木村 宏一郎
東南アジア史像を考える
 —ヴェトナム史に着目して—・・・・・・・・・・ 佐々木 省三
複合民族社会マレーシアを現地にみる・・・・・・・・・・ 藤根 栄美子

特集Ⅱ：アジアの社会主義（その2）

- 朝鮮の人民政権と憲法—その歴史的考察—（2）・・・・・・・・・・ 大内 憲昭

9月号（No. 269）

特集：AALAをめぐる法学上の諸問題

- 国際法における「第三世界」の概念・・・・・・・・・・ 曾我 英雄
国際人権約第一条と自決権の普遍的適用・・・・・・・・・・ 松井 芳郎
ベトナム憲法と民族・・・・・・・・・・ 鮎京 正訓

紹介

- 十八世紀末十九世紀初頭の北部デルタにおける
 ベトナム人村落の規模について・・・・・・・・・・ ゲェン・ドゥック・ギン

10月号 (No. 270)

- 日本労働者の意識とAALA・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 畑田 重夫
わが国企業の対外投資と貿易摩擦—電気機械産業を中心に— 中嶋 慎治
韓国経済の発展と展望—韓国民主化の射程—・・・・・・・・ 鄭 章淵

11月号 (No. 271)

特集：アジアの社会主義（その3）

- 戦後アジアにおける人民革命の歴史的環境（上）・・・・・・・・ 佐々木 隆爾
現代ベトナム経済の現状と問題点・・・・・・・・・・・・・・・・ 池上 惇
地理教育におけるAALA
—高校地理教科書のアフリカ（サハラ以南）の扱いと問題点—・・ 川上 誠

12月号 (No. 272)

特集：1983年のAALAと日本の歴史的位置・・・

- レーガン戦略とAALA—1983年を回顧して—・・・・・・・・ 岡倉古志郎
深まる中東への米軍事介入—83年中東—・・・・・・・・ 中条 敏
激動の83年中米・カリブ・・・・・・・・・・・・・・・・ 岡 知和
近代日本と東アジア—過去・現在・未来—・・・・・・・・ 小林 英夫
アラブの地理学的研究と地理学的方法について・・・・・・・・ 田島 康弘
『月刊アジア・アフリカ研究』年間総目次（1983年・第23巻）

1984年・第24巻

1月号 (No. 273)

- 1984年を迎えるに当って・・・・・・・・・・・・・・・・ 岡倉古志郎
特集：現在の国際通貨金融情勢と発展途上国
現在の国際金融情勢と南北問題・・・・・・・・ 徳永正二郎
債務危機管理の政治経済学
—債務不履行・救済・リスケジュール—・・・・・・・・ 毛利 良一
発展途上国の累積債務問題によせて
—グラハム・バードの見解を中心に—・・・・・・・・ 今宮 謙二
発展途上国と国際通貨基金の融資政策・・・・・・・・ 吉川 久治

2月号 (No. 274)

- 多国籍企業の技術移転と途上国・・・・・・・・ 辻 忠夫
ロシアの土地変革について
—マルクスの共同体論とレーニン—・・・・・・・・ 守屋 典郎

海外研究動向

ソビエト学界におけるA A L A研究の動向・・・・・・・・・・木村 紀子

3月号 (No. 275)

国家分析のための機能論的枠組

—第三世界における従属的資本主義諸国を中心に— (上)・・・・文 京洙
今日の石油問題と「第三世界」

—石油とドルと兵器を結ぶ収奪の機構— (Ⅱ)・・・・唐沢 敬

研究ノート

タンザニアにおけるコーヒー産業の史的展開と貿易

—経済的自立の視角から— (1)・・・・酒本多美子

応答

ユーロダラーの拡大の原因は何か

—今宮謙二氏に答える—・・・・小谷 崇

4月号 (No. 276)

社会主義への民主的道とチリ人民連合

—ブスコビッチ経済政策を中心に— (上)・・・・高橋 正明

国家分析のための機能論的枠組

—第三世界における従属的資本主義諸国を中心に— (下)・・・・文 京洙

研究ノート

タンザニアにおけるコーヒー産業の史的展開と貿易

—経済的自立の視角から— (2)・・・・酒本多美子

書評

小林英夫著『戦後日本資本主義と「東アジア経済圏」』を読んで・ 鄭 章淵

5月号 (No. 277)

最近の民族解放運動の諸特徴 (上)・・・・中尾 俊彦

社会主義への民主的道とチリ人民連合

—ブスコビッチ経済政策を中心に— (下)・・・・高橋 正明

翻訳紹介

マルクス主義と社会科学—ひとつの概念的見解—・・・・M J Kタバラーヂ

6月号 (No. 278)

カンボジア農村の経済=社会構造

—フー・ユオン、フー・ニム論文を中心に—・・・・藤田 和子

最近の民族解放運動の諸特徴（下）・・・・・・・・・・中尾 俊彦
なぜアフリカは飢えるのか—飢餓の実態と要因について—・・・奥野 保男

7月号 (No. 279)

座談会：『第三世界を知る—アジアの世界』を読んで

—高校社会科教育の視点—・・・・・・・・・・逢坂恵美子
木村宏一郎
佐々木省三

福沢諭吉の「脱亜論」学習

—選択授業「アジアの中の日本」から—・・・・・・・・・・木村宏一郎
ケニアの旅から—村の生活と教育—・・・・・・・・・・上林 陽治
私のシルクロード論・・・・・・・・・・阿部 治平
抗日民族統一戦線運動の一考察

—1930年代「満州」を中心として—・・・・・・・・・・佐々木太郎

8月号 (No. 280)

「平和五原則」の源頭—中印チベット協定交渉から

周・ネルー共同声明に至る経過の研究・・・・・・・・・・岡倉古志郎
抗日民族統一戦線運動の一考察
—1930年代「満州」を中心として—（中）・・・・・・・・・・佐々木太郎

9月号 (No. 281)

韓国における南北統一運動

—1960～61年期を中心に—・・・・・・・・・・文 京洙
資本輸出と労働問題—韓国の事例—（上）・・・・・・・・・・鄭 章淵
抗日民族統一戦線運動の一考察
—1930年代「満州」を中心として—（下）・・・・・・・・・・佐々木太郎

10月号 (No. 282)

資本輸出と労働問題—韓国の事例—（下）・・・・・・・・・・鄭 章淵

研究ノート

在日朝鮮人問題の再検討（上）・・・・・・・・・・中平 朋子
現代インドネシア国家形成史覚書（上）・・・・・・・・・・桐山 昇

11月号 (No. 283)

軍縮と第三世界・・・・・・・・・・杉江 栄一

研究ノート

在日朝鮮人問題の再検討（下）・・・・・・・・・・・・・・・・・・中平 朋子

書評

F. フレーベル、J. ハイน์リッヒ、クレー著

『新国際分業：工業国の構造的失業と発展途上国の工業化』・・・ 森野 勝好
武村 隆
田中 祐二
茶谷 淳一

翻訳紹介

エジプトで何が変わったか・・・・・・・・・・・・・・・・・・ M. カメル

12月号(No. 284)

小特集：韓国政治経済の一側面

韓国における労使関係の新たな局面・・・・・・・・・・ 炭谷 昭子
韓国における国家と蓄積機能・・・・・・・・・・ 文 京洙

紹介

第三世界の経済における超国籍企業・・・・・・・・・・ア. ベレズノイ
『月刊アジア・アフリカ研究』（第24巻・1984年）年間総目次

1985年・第25巻

1月号(No. 285)

年頭のごあいさつ

新しい年を迎えるに当って・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 岡倉古志郎

国際交流の現状と課題

—鹿児島県とアセアン諸国を中心に—（上）・・・・・・・・ 山田 晋

研究ノート

現代インドネシア国家形成史覚書（下）・・・・・・・・・・ 桐山 昇

2月号(No. 286)

発展途上国の工業化と「資本財」

—UNCTADによるサーベイを中心に—・・・・・・・・・・ 森野 勝好

紹介

マルクス主義とインドの民族問題・・・・・・・・・・ B. T. ラナディヴェー

3月号(No. 287)

第三世界国家論の構築をめざして（上）・・・・・・・・・・・・ 河合 恒生
ラテン・アメリカの経済発展における<80年代>・・・・・・・・ 徳永 俊明

翻訳紹介

ボリーバルとアメリカ合衆国・・・・・・・・・・・・・・アナトーリ・グリーンキン

書評

『ラテン・アメリカの世界』を読んで・・・・・・・・・・・・ 高橋 早代

4月号（No. 288）

パレスチナ問題と中東和平の現状・・・・・・・・・・・・ 岡倉 徹志

研究覚書：発展途上諸国における社会構成体と

国家ブルジョアジーの問題をめぐる・・・・・・・・ 斉藤 真

第三世界国家論の構築をめざして（下）・・・・・・・・・・・・ 河合 恒生

5月号（No. 289）

中国外交研究資料

一回顧録の公刊によせて・・・・・・・・・・・・ 喜田昭治郎

多国籍企業と第三世界の国家・政治・・・・・・・・・・・・ 徳永 俊明

紹介

マルクスの遺産と民族解放運動・・・・・・・・・・・・ロスチスラフ・ウルヤノフスキ

6月号（No. 290）

イタリアーエチオピア関係研究序説（Ⅱ）

ーウチャリ条約を中心にー・・・・・・・・・・・・ 岡倉 登志

書評 国連工業開発機構、「世界の非電気機械：工作機械産業の実証的研究」

森野 勝好

紹介

サンディニスタ民族解放戦線とニカラグア革命・・・・・・・・ トーマス・ボルヘ

7月号（No. 291）

インド農業開発問題分析の一視角

ー農村内労働者階層の位置は変化したかー・・・・・・・・ 和田 幸子

ASEAN諸国における農業・農民問題・・・・・・・・・・・・ 森井 淳吉

紹介

インド：独立の道の里程標・・・・・・・・・・・・ V. ジョージーヴ

8月号（No. 292）

イスラエルによるパレスチナ占領の経済学

- 西岸・ガザの社会・経済的変容とイスラエル入植の新段階 平井 文子
資本主義社会と国家・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 河合 恒生

9月—10月号 (No. 293—294号)

戦後日本の海外投資の構造と特徴

- 日本型海外直接投資とは何か—・・・・・・・・・・・・・・・・ 中嶋 慎治

国際交流の現状と課題

- 鹿児島県とアセアン諸国を中心に— (下)・・・・・・・・ 山田 晋
中東・アジアにおける経済軍事化の実態とソ連外交の基本(I)
—H. A. グニエブシェフ氏の所説を中心に—・・・・・・・・ 木村 紀子

書評

- 藤田久一著『軍縮の国際法』・・・・・・・・・・・・・・・・ 曾我 英雄

11月号—12月号 (No. 295—296号)

- 国際石油産業の構造変化・・・・・・・・・・・・・・・・ 唐沢 敬
転換期のメキシコ

- 1970年代のメキシコ社会の変容と国家—・・・・・・・・ 松下 冽
韓国民主化闘争の現局面・・・・・・・・・・・・・・・・ 炭谷 昭子

紹介

- アルジェリア国家資本主義下における農業改革・・・・ カレン・ファイファー
EECと発展途上国—不平等なパートナーシップ—・・・・ T.フィリモノヴァ

1986年・第26巻

1—2—3月号 (No. 297—298—299)

- 国際政治と第三世界・・・・・・・・・・・・・・・・ 巢山 靖司
崩壊への道たどるアパルトヘイト体制

- 南ア人種差別の構図と問題点—・・・・・・・・ 奥野 保男
エジプトにおける政治と国家

- ナセル政権からサダト政権への転換—・・・・・・・・ 斉藤 真

研究ノートから

- アジア途上国における経済発展のダイナミズムに関する一考察・和田 幸子

資料

- 日本の経済協力、資本輸出に関する文献目録 (1960～75年分)
—その1—・・・・アジア・アフリカ研究所経済研究会
『月刊アジア・アフリカ研究』年間総目次

(第25卷第1号~第25卷第12号)